

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-001	通関	IDA	現在（第6次naccs）,B/L番号を入れる欄は、5欄までですが、欄数を増やして欲しい。（できれば、8欄くらいに）	B/L番号を入れる欄は、5欄。	B/L番号を入れる欄を増やして欲しい。	輸入申告を1本でしたい為。	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-002	貨物		管理資料情報取り出しの申告一覧データについて。	管理資料情報取り出しの申告一覧データについて。輸出申告一覧データの代表統番は6桁で出ますが、輸入の申告一覧データの代表統番は4桁です。	輸出申告一覧データの代表統番は6桁で出ますが、輸入の申告一覧データの代表統番は4桁です。監査用として許可書を見ながら4桁から6桁に手直しています。輸入も同じ桁数で出力されるように希望します。また、通関士コードで件数を確認しているため、出力条件を調整できるようになると助かります。	監査用資料作成の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-003	その他		文字コードの追加希望	記事欄へのm3(立法メートル)の入力ができない。	記事欄へのm(立法メートル)の文字の使用を希望	自動車通関証明で車名が必要なため。「m(平方メートル)」は入力可能なので、「m³(立法メートル)」も入力可能にしてください。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-004	通関		添付業務（MSX等）の連続送信の際に、添付ファイルの自動添付が出来る方法について	パッケージソフトでは、添付できない。	複数の申告につき、外部ファイルの連続送信を行う場合が多くなっており、同じく複数の添付業務(MSX等)を連続送信で処理したいと思いますが、ファイル添付は自動で出来ないため、結局個々の添付をしないといけない状況です。 添付業務の連続送信の際に、添付ファイルの自動添付が出来る方法について、ご検討頂きたくお願いいたします。		2026年度プログラム変更実施案件
R07-005	海上入出港	DMF	DMF未登録時のワーニング機能追加	・現仕様において、所望する機能の提供はない。	DMF未提出の通知希望。	提出漏れを防止する為	継続検討（翌年度）
R07-006	海上入出港	MFR	MFRの一括削除機能 or ヤードの変更の手続き	・コンテナオペレーション会社コードを訂正する場合、当該項目に係るB/L情報及びコンテナ情報をすべて削除した後、再登録する必要があります。	輸入貨物の目録提出業務を行っております。社内で同一業務を行っている人が複数おりますが、本船の着岸がターミナルの混雑や船社都合でターミナルが変更になった時もしくは代理店の誤りでヤードを誤って登録した際、提出したMFRを全件消去して再入力するしか方法がないのですが、一括削除ができるようにする。または削除して再登録ではなくヤード変更の手続きができるようにして頂きたい。		システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-007	貨物	CSN	貨物状況通知サービス	第7次NACCS更改より、「貨物状況通知サービス」ですが、今回、HDF業務・CDB・CDD業務の通知は、対象外との事でしたが、今後、是非、HDF業務・CDB・CDD業務の通知を検討して頂きたい。	現在、他社のHDF業務・CDB・CDD業務状況を知りたい時に、IGS業務より、検索するしかありませんが、いつ登録が完了しているのか判別がつかないので、1つのAWBの状況を知るためにIGSの検索を平均でも10回、多い時で、何百回と検索している場合があり、大変、コストがかかり、困っています。	業務効率化	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-008	貨物	新規管理資料	前日の輸出及び輸入許可になった申告の一覧がほしい。	前日の輸出及び輸入許可になった申告の一覧がない。現在審査区分一覧表では当日許可にならない場合は空欄となって使いづらいです。	管理資料で、日々の許可件数をチェックしたいので前日の輸出許可及び輸入許可になった申告の一覧を配信希望。	業務改善の為	継続検討（翌年度）
R07-009	海上入出港		不開港入出港手数料納付手続きのリアルタイム口座化について	現在、不開港入出港手続きに伴う納付手続きに関しては、MPNでの支払いは可能であるが、リアルタイム口座に対応していない。	現在、不開港入出港手続きに伴う納付手続きに関しては、MPNでの支払いは可能であるが、リアルタイム口座に対応していない。土日等の行政機関の休日に当該手続きを行う際、MPNで支払うために担当部署の職員を出動させて支払いの手続きを行うか、現金あるいは収入印紙による支払いをしなければならない現状にある。現金あるいは収入印紙を持参して当該手続きを行うためには、税関職員の方の出動も必要となる。金融機関によっては対応不可であったりATMによるMPN（ペイジー）は取扱いがない、または現金でのMPN（ペイジー）は可能であるが10万円未満しか対応していないなどがある。不開港入出港手続きに伴う納付手続きが、リアルタイム口座に改変されれば、行政機関の休日等において必要最小限の人員での手続きが可能となることから改変を要望する次第です。	行政機関の休日等において必要最小限の人員での手続きが可能となる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-010			NACCSパッケージソフトにおける利用者操作後のスクロール位置の固定の廃止	パッケージソフトにおいて、電文受信時などで送受信電文一覧が更新された際に、自動でスクロールされず電文の受信に気づきにくい。	利用者操作後の送受信電文一覧のスクロール位置の固定を廃止して、変更前のスクロールする設定にして欲しい。スクロール位置を固定されると、最新のデータを参照するために都度スクロールの必要が発生し、無駄な操作が増加している。スクロール位置の固定を廃止して頂くか、利用者が一覧を最新（一番上）の情報を表示している場合はスクロールする、利用者が一覧をスクロールしていた場合スクロールされずに固定される、などの変更を行って欲しい。	利便性の向上	2026年度プログラム変更実施案件
R07-011			NACCSパッケージソフトにおける利用者操作後のスクロール位置の固定の廃止	パッケージソフトにおいて、電文受信時などで送受信電文一覧が更新された際に、自動でスクロールされず電文の受信に気づきにくい。	6次の仕様変更項番6N-23-20につきまして、自動スクロールの仕様変更が行われたようですが、変更前の仕様（送受信電文一覧の更新時に自動スクロールする）の方が使いやすかったため、自動スクロールのオンオフを選択できるようにしてほしいです。	利便性の向上	2026年度プログラム変更実施案件
R07-012	貨物	SHS/CHJ	仕分け作業について	誤った入力も登録ができてしまう。 入力した海貨業者が訂正できない。	船社がNACCSに登録したMFR情報を海貨業者が仕分け作業時に、個数、Weight,m3等に誤りがあっても登録ができてしまいます。後から気が付いても海貨業者では訂正できず、ターミナルが訂正することが現状となっておりますが、元データから仕分けする際に誤りがあればエラーがでるように希望。	仕分け業務の入力者が訂正ができない。 →訂正可能とする →重量、容量について、総数のチェックを追加する。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-013	貨物	MFR ICN	再利用期間の件（輸出）	最新更新日から4日が経った輸出コンテナ情報について、他港からのMFRで情報が更新され、その前の情報が参照できなくなる。	蔵置中の輸出許可積みコンテナ情報が、他港で誤送信されたMFRにより消失しました。（誤送信の為MFRは直ぐに取り消され、ICNでコンテナ情報がない状態となった）理由はMFR時のコンテナ情報DBチェックで、輸出コンテナ情報があった場合でも最新更新日から4日で上書き可能となるためとの事でした。再利用が可能となるメリットよりも、保税管理中の輸出コンテナが他社の誤りで容易に上書き・消去される問題の方が大きいのではと思います。通常CYへの搬入は船積みの1週間程前からなるため、4日という日数設定は非常に短いものと考えます。まだ船積みも行っていないこの期間内に新たなMFR情報登録が必要なケースは中々想像できません。この輸出の場合は船積み直前（CYカット日）に発覚することになり、そこから原因追究、税関への相談、対処法の確認と時間がかかり 船積み可否、積リスト取得、荷役作業に多大な影響を及ぼします。システム上の改変が難しくれば可能期間を30日にするなど、より起こる可能性の低くなる対処を早急に希望致します。	蔵置中の輸出許可積みコンテナ情報が、最新更新日から4日の上書き可能となることで他港で誤送信されたMFRにより消失することを防ぎたい。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-014	貨物	RSS01 RST01 SAL0511	デスパッチの記載項目について	<p>輸入コンテナ引取予定ID確認情報（デスパッチ）に下記データが反映されていないことによりドレー業者から都度確認が入り業務が煩雑になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通関業者がRSSで入力した必須項目である搬出予定日時がHANSHUTSU KIBOUとして出ている時と出していない時が存在する。 <p>特に京浜港のドレー業者はヤード混雑が酷いため、納品日の前々日にコンテナをPICKするという場合があり、その都度『いつからPICKできるのか』の問い合わせがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デスパッチにコンテナサイズを出すことはできないのか？ <p>オーダーの時点でサイズを間違えて発注してしまうとヤードで搬出手続きをするまで判明せず、無駄な並び直しが発生してしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入コンテナのデテンションフリー期日をデスパッチに載せてほしい。 <p>デテンションフリーの期日があれば搬出日や返却日をヤードが空いているタイミングに調整することができる。</p>	<p>輸入コンテナ引取予定ID確認情報（デスパッチ）に下記データが反映されていないことによりドレー業者から都度確認が入り業務が煩雑になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通関業者がRSSで入力した必須項目である搬出予定日時がHANSHUTSU KIBOUとして出ている時と出していない時が存在する。 <p>特に京浜港のドレー業者はヤード混雑が酷いため、納品日の前々日にコンテナをPICKするという場合があり、その都度『いつからPICKできるのか』の問い合わせがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デスパッチにコンテナサイズを出すことはできないのか？ <p>オーダーの時点でサイズを間違えて発注してしまうとヤードで搬出手続きをするまで判明せず、無駄な並び直しが発生してしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入コンテナのデテンションフリー期日をデスパッチに載せてほしい。 <p>デテンションフリーの期日があれば搬出日や返却日をヤードが空いているタイミングに調整することができる。</p>	<p>輸入コンテナ引取予定ID確認情報（デスパッチ）につきまして、RST01業務(輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認))の出力情報である輸入コンテナ引取予定ID確認情報(SAL0511)と仮定し、以下の通りご回答いたします。</p> <p>輸入コンテナ引取予定ID確認情報(SAL0511)の「引取可能年月日」と「引取可能時刻」は、RSS01業務における「引取予定年月日」と「引取予定時刻」の入力有無によらず、RST01業務で入力があった場合に出力されます。</p> <p>当該項目が出力されない場合、RST01業務の当該項目は任意入力となりますため、入力されていない可能性がございます。なお、「引取可能年月日」に入力がなく、「引取可能時刻」のみ入力されていた場合、「引取可能時刻」は出力されませんのでご留意いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、輸入コンテナ引取予定ID確認情報(SAL0511)に対するコンテナサイズやデテンションフリー期日の項目追加は、プログラム変更となります。</p>	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-015	貨物	PKI			<p>当港において、本船入港前に当該船舶の船卸確認登録（一括）を誤って処理する事例が発生しました。原因としては、週末から週明けにかけて同船会社の複数本船が入港した際、NACCS処理担当者が誤って入港前の本船の船卸確認登録（一括）を行ってしまったことにあります。</p> <p>当件については、直ちに管轄の税関へ連絡し、現在税関からの処分を待っている状況です。</p> <p>この問題に関しましては、社内においてTOSの改修を含めた再発防止策を検討しております。また、税関からもNACCSシステムの改修を含む対策の必要性について指示を受けております。具体的には、データベースチェックに「入港届の提出状況」など、本船の入港済みを確認する項目を追加することが提案されております。</p> <p>今回は船卸に関わるB/L件数が少なかったため、搬入停止の処分には至りませんでした。しかし、メインポート等、取扱件数が多い港においては、搬入停止や許可取消が発生するリスクもございます。システム改修については容易ではないことは承知しておりますが、改修のご検討を何卒よろしくお願い申し上げます。</p>		他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-016	貨物	ADM01 HDM01	総重量の桁数拡張とチェック変更	整数部 6 桁以内及び小数部 1 桁以内か否かのチェックあり。小数部 2 桁の入力は小数部 1 桁以内ではないことからエラーとなる。桁数は 6 桁のため、桁数拡張の必要あり。	NACCS の総重量において小数部が 2 桁以上の入力はエラーとなるが、IATA の Cargo IMP のガイドライン 0.1-9999999 では、たとえ小数部が 2 桁であっても、0.1 以上であれば（例えば 1.01）この範囲に含まれる。（0.1 < 1.01 < 9999999） IATA に沿った形式での受信を希望する。	IATA のガイドラインに沿ったデータ送受信が可能となる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-017	その他	パッケージソフト	パッケージソフトのキャンセル処理に関するプロ変	パッケージソフトの電文の送受信は、送信要求（送信の開始）から受信完了までが一つの機能（通信機能）となっており、キャンセルはこの通信機能を対象としています。 各処理（送信、受信待機、受信）を個別にキャンセル制御することはできていません。 なお、今回のお問い合わせのケースですと、送信中または送信完了処理中から受信待機状態になる間でキャンセルが行われております。	電文送信がキャンセル出来なかったにも関わらず、利用者側で処理結果電文を受信できず、結果 2 重送信となった。 【詳細】 利用者様が行った 1 回目の電文送信に対し利用者側で [キャンセル] した後、2 回目の電文送信 ・ 1 回目の電文送信の [キャンセル] が電文送信に間に合わずに NACCS に送信され、 ・ NACCS からの受信以降の処理がキャンセルされた ・ 結果、2 回目の送信とキャンセルできなかった 1 回目の送信とを合わせて 2 回の電文送信が行われた	2 重送信防止のため、キャンセル可否について、利用者が分かるようにしてほしい。	継続検討（翌年度）
R07-018	貨物	ACL	ACL01(ACL情報登録(コンテナ船用))業務で共通部2の統計品目・代表番号欄における空白時の補完の廃止	ACL01(ACL情報登録(コンテナ船用))業務で共通部2の統計品目・代表番号欄は空白で送信しても貨物情報に登録されている代表品目番号から補完される。	<p>入力が必要だと判断して空白とした入力欄に勝手に品目番号が入力されてしまう事は問題だと思います。</p> <p>ACL業務は、税関手続きとは違い民間での業務であるため、自由度が大変高く情報入力の際に自由な表現が必要とされます。</p> <p>最近の一般論としては品目番号を取り込む事が多いののためにシステムもそちらに合わせているところもあるかもしれませんが、ただ敢えて入力をしないでACL情報を作成したい状況もあります。</p> <p>30数年ACL業務を行っているのですが、今回の品目番号の自動補完の件に限らずシステムでの規則的な動きが運用にそぐわないと感じる部分もあるため、出来れば考えていた だきたいです。</p>	品目番号を意図的に空欄で登録することを可能とする。 補完が不要なケースにおいて、ユーザの入力意図を尊重した柔軟なデータ登録が実現される。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-019	通関	IDI	IDI業務で引き落とし未済の申告を一斉照会したい。	引き落とし未済を照会する業務がない。	IDI業務に、審査が終了しているが引き落とし未済で未許可となっている申告を一覧照会する機能を追加する。	引き落とし未済申告が一斉照会可能となる。	継続検討（翌年度）
R07-020	通関	ROW	ROW業務で複数の申告番号を入力できるようにする。	ROW業務は、申告番号1件ごとにリアルタイム口座の再引落とする。	ROW業務で1件ごとではなく、複数の申告番号を入力できるようにする。	業務効率化の為	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-021	航空入出港	PNR01、 PLR01、 NLR01、 ADM01、 HDM01	フライトナンバーの桁数拡張	フライトナンバーは6桁	フライトの遅延等によりフライトナンバーの後ろにアルファベット1文字が付くことが御座います（例 #6724 D）この場合、文字数が7つとなり例えば #6724 D 便としての情報が NACCS 側に正しく届かないことが御座います。 つきましてはフライトナンバーのとして7文字であることは実際に御座いますので、正しいフライトナンバーで（7文字の場合も）JAPAN ACI に必要な電子情報が NACCS に届くように、NACCS でのフライトナンバーの最大文字数を現行の6文字から7文字への変更をお願いいたします。	フライトナンバーの桁数が7となることもあり、遅延等は突発的に生じることもありNACCS に届かないこともあり得る。航空事前情報の報告が届かないことを防止する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-022	通関	IDA	他法令に関する入力で「関税法70条関係許可承認」欄と「輸入承認証番号等」欄の相関チェックの追加	IDA（輸入申告事項登録）において、他法令に関する入力で「関税法70条関係許可承認」欄と「輸入承認証番号等」欄がリンクされていない。片方の入力が増えた場合、エラーが出ない。	NACCS・IDA（輸入申告事項登録）において、他法令に関する入力で「関税法70条関係許可承認」欄と「輸入承認証番号等」欄がリンクされていない。片方の入力が増えた場合、ワーニングが出るようにしてほしい。	入力ミス防止につながる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-023	通関	CHA	輸入許可後のHAWBに対するCHA（削除）業務を不可とする	許可後のCHA業務は削除のみ可能で新規登録及び追加は不可。 5次NACCS以前からの仕様。 HAWBの貨物情報のデータ保存期間は*7日(日祝除く)で起算日はCHA業務実施日	輸入許可が下りている貨物で、CHA業務の削除理由に誤ってデリートを入れて送信してしまった。 IAW業務で照会すると存在している状態だが、データベース上では消えてしまっている。 後続業務のOUT業務を実施することができず、結果的にマニュアルで台長記憶へえ搬出するという対応となった。	誤削除の防止と誤削除による後続業務への影響を防止し、適切な貨物管理を実現する。	継続検討（翌年度）
R07-024	通関		CCA業務による輸入申告DB削除起算日の変更	CCA業務を実施した場合、輸入申告DB（B501A）の削除可能年月日を業務実施日で更新しているが、共通管理番号輸入申告明細DB（B539B）の削除可能年月日は更新していないため、不要データ削除処理での削除タイミングに差異が発生している。その他、同様の事象あり。	輸入申告時に他法令（食品）の共通管理番号を登録したにも関わらず、申告時には共通管理番号のリンクが外れていた。原因としては、IDA業務から数日後に実施されたCCA業務実施時に、輸入申告DB（B501A）は起算日が更新されるのに対し、共通管理番号輸入申告明細DB（B539B）は、CCA業務で更新されずに、当初のIDA実施日が起算日となっていたためであった。申告情報との差異が生じないよう、CCAによって輸入申告DB（B501A）の起算日が更新されるのであれば、輸入申告明細DB（B539B）の起算日も更新してほしい。	輸入申告DBと共通管理番号輸入申告明細DBの起算日のずれを解消し、申告時に登録した共通管理番号のリンクが申告時に外れているという事象を防止する。	2026年度プログラム変更実施案件

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-025	貨物		ACLの入力項目追加	現在、要望の項目がない。	ACLの入力項目追加 1. <選択式> 海上運賃の支払い方法：現金、クレジットカード、小切手、振込、与信、仕向け地払い、その他（例：口座引き落とし）等を選択 2. <選択式> ICS2 ファイリングの申告方法：F10、F11、F12、F13 を選択。 3. <記入式> 追加申告者の EORI 番号（顧客側で申告する場合） 4. <記入式> 荷送人、荷受人、着荷通知先の EORI 番号、種別（法人/個人/団体） 5. <記入式> 実際の買主および売主の詳細：名称、住所、都市名、州、国、郵便番号、EORI 番号、種別（法人/個人/団体） 6. <記入式> 化学品輸送のための ECICS CUS コード 7. <記入式> House BL レベルデータ	ICS2対応項目に関する項目について、海上輸送事業者（外航海運会社）への送信が可能となる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-026	海上入出港	全般	WebNACCSの使い勝手の向上	画面上部の各種申請から登録、訂正/削除を選択するまでクリックしなければならない。	毎回クリックしなくてもマウスポインターを合わせるだけで次の選択肢が開くようにしてほしい。	操作性の向上	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-027	海上入出港	VTX02,03等	netNACCSの使い勝手の向上	netNACCSの表示を最大化しても繰り返し部の右側の表示が途中で切れて横スクロールする必要がある。	右側にまだかなり余白が残っているので余白の部分ギリギリまで表示してほしい。	視認性、操作性の向上	継続検討（翌年度）
R07-028	海上入出港	APA	入力の手間の削減	交通者欄に年齢の入力が求められる。	生年月日を入力しているにも拘わらず年齢も入力を求められるが自動計算になっていないため自身で計算しなければならない。	複数人居る場合に毎回計算するのが面倒である為、項目を無くすか生年月日と申請日から自動計算してほしい。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-029	海上入出港	APA	入力の手間の削減	交通者欄が1名ずつ記入しなければならないため一度にデータを貼り付けることが出来ず複数人居る場合の登録にかなり手間がかかる。	VTX02,03のようにExcelシートから直接データが貼り付けることが出来るようにしてほしい。	データをExcelの一覧表で入手しても申請の際に1項目ずつコピー＆ペーストしなければならず手間がかかるので複数人分を一度で貼り付けることが出来るようにしてほしい。 更にこれが可能になれば、Excelシートの年齢欄に申請日と生年月日から年齢を自動計算できる式をいれておくことで年齢計算も可能となる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-030	海上入出港	WIT	送信宛先と入港港コードを紐付けて間違っただ宛先に送信出来ないようにしてもらいたい。	送信宛先と入港港コードを紐付けされていないため、間違っただ宛先に送信を行うことが出来る。	船舶代理店で横浜港・川崎港などを扱う際、入港港コード：JPYOK（横浜）であっても川崎税関宛に入港届を送信することが出来るため未然の予防策を講じてほしい。	申請などの誤送信防止。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-031	海上入出港	VOX	出港許可通知情報出力後の書面の入力内容の訂正ができるようにしてほしい。	出力後、VOX11にて情報の訂正を行うことはできるが、出力される書類には訂正後の情報が反映されず困っている。	情報の変更だけでなく変更後の情報に書き換えされた出港許可書をいただきたい。	港によってはルールが厳しく、前港の許可書に表れる全ての情報が正確でないと入港できない場合があるため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-032	海上入出港		管轄の各官庁の送信先にチェックを入れる際、コード入力不要にしてほしい。	コードの入カミス（文字の間違い）や管轄外の官庁コードを誤って入力し送信してもエラーが出ない。	管轄の官庁は基本的には不変のため、各代理店とその窓口を紐づけられれば、コードの入力は不要と思われる。	申請漏れを防ぎ、意図しない管轄外の官庁への送信を未然に防ぐことができる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-033	貨物	CMF02	訂正・削除理由を日本語で記入したい。	訂正・削除理由を英語のみ、全角のみでしか入力できない。		日本語での記述が可能となることでより細やかなニュアンスでの連絡が可能となる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-034	貨物	CMF02	CMF02業務で削除ではなく、訂正できる項目を増やしてほしい。	枝番やCYコード、BL番号の変更・訂正があった際、訂正できないため削除後一から登録し直す必要がある。		訂正内容が単純なものであっても一から登録し直す必要があり手間がかかる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-035	海上入出港	VTX02	乗組員の削除・追加時に列の操作を自由に行いたい。	乗組員の追加は最後の行に追加する形となり、自由な列に挿入・移動ができない。		乗組員の追加があった場合は最後の行に追加される形となり、ランク別に記載された書類とデータとの比較に時間がかかる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-036	海上入出港	VTX02	乗組員交代時のリマーク欄への記載の仕方を統一してほしい。	港ごとにルールが異なっている。※【TV+,TV-】の記入の必要性が異なる。	NACCSの仕様というよりは管轄の入管によって指示が異なることに起因しているが、各入管への聞き取りなどが困難。	前港の入カルールと異なる場合入港後に変更しなければいけない場合がある。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-037	貨物	DCC	貨物情報をエクセルからコピーで張り付ける際に、全項目をまとめて貼り付けたい。	一件ごとに貨物情報（コンテナ番号、サイズ等）を入力しないといけない。		一件ごとに分けてコピー&ペーストしており、入力に時間がかかる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-038	海上入出港	VPX	乗員上陸許可申請に伴う手続きを簡素化したい。	申請対象以外の乗組員の情報を全て削除せねばならず、個別に許可申請をする際に手間がかかる。	例）各乗組員の端にチェック項目を設け、チェックを入れた乗組員のみ申請対象とするといったシステムが望ましい。	申請対象以外の乗組員の情報を全て削除せねばならず、個別に許可申請をする際に手間がかかる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-039	海上入出港	APA	交通者入力欄（入力可能人数）の追加	一度の申請で20名しか申請出来ない。	乗組員を登録する際、1隻の乗組員数は20名を超えていることが多々ある。20名を超える場合、複数回申請する必要がある。	申請者・認可者とも一度の申請・認可で終わることが出来る。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-040	海上入出港	WPT（船舶保安情報）	入港港情報の海保側システムへの反映	入港港情報へ着岸場所コード、着岸年月日時刻を入力しても海保側システムに反映されない。そのため、その他参考事項欄への記載を求められる。	入港港情報を入力しているにも関わらず、海保側システムに反映されず、そのた参考事項欄へ記載するように海保から要請され手間となっている。NACCSセンターへ依頼しても海保側が必要としない情報の為、海保側から要望がない限り対応不可との回答。海保側の申請窓口へ依頼してもNACCS担当者ではないので分からないとの回答。	同じ情報を入力する手間を省ける。その他参考事項欄へ記入するといった特殊対応をする必要がなくなる。それによりNACCSの画面通りに入力するだけで申請が可能で誰にとっても使いやすいものとなる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-041	海上入出港	IMI	B/L照会を船ごとに出来るようにしてほしい。	B/L照会を行う場合、登録したB/L件数ごとに行う必要がある。	B/L 1件、1件でしか照会が出来ず、B/Lが複数件ある場合、非常に手間となっている。そのため船、港を指定すれば登録されているすべてのB/Lを照会出来るようにしてほしい。	1件、1件の照会ではなく、一度で照会出来ることで手間を省ける。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-042	航空入出港	PNR	航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書の旅客予約記録情報（※）委託先利用者コードの登録枠拡大	登録枠が1利用者コード分しかなく1エアラインに対し複数のハンドリング会社を登録することが出来ない。	1エアラインに対する利用者コード登録枠の拡大	現在は1エアラインを複数のハンドリング会社で対応するケースが増加してきているため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-043	貨物	HPK	HCH業務未入力時のHPK業務実施	HCH業務が1度も実施されていない場合、HPK業務が1度のみ入力可能となっており、SPLIT到着での2度目以降については、HCH業務後のみ登録が可能	HCH業務先行になっているものの、一部HPK業務が先行する場合があります、その際でもHPK業務が複数便登録可能としたい。	貨物到着しているAWB番号に対し、NACCS登録が出来ていない場合がある。	継続検討（翌年度）
R07-044	貨物	ICG	貨物状況の通知範囲拡大の希望	貨物状況（特に、申告/許可状況、荷渡可能表示）について、現状はNACCS端末のみへの通知機能となっている。（ICG:貨物情報照会）	貨物状況の通知をNACCS端末に通知するだけでなく、登録したEメールアドレスへの通知も可能となるよう、検討してほしい。	貨物状況の確認が必要となる業務、部署、担当者が社内によく散在しているため、NACCS端末への通知だけでなく、特定のメールアドレスで通知を受け取れると利便性が大きく向上します。	継続検討（翌年度）
R07-045	貨物	ICG	FT入力必須化（FCL, LCLどちらも）	LCL貨物についてのFTは専用カ所「フリータイム日付」欄ではなく「記事」欄に記載の時もあり統一されていない。	LCLについてはそもそもFT記載されるものがほとんどないので必須化として欲しい	現状は CFS hp.や電話で確認している	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-046	貨物	RSS	「通知先」を選択式にしてほしい	通知先が選択式ではない	蔵置場所と通知先の対比をプルダウン等で選択したい	A/Nに通知先コードが入っていないのでNACCS上でコンテナ引取り予約を入れる際に都度、別表で確認(ICN等)入力している。	継続検討（翌年度）
R07-047	通関	IDA IDD	IDA/IDD登録事項のCSVデータ化	IDA/IDDを送信すると所定のプリンターから入力控が紙面で印刷される。	NACCSに登録した申告事項（輸入許可前）について、現状入力控の紙面を目視審査しているが、登録項目をCSVファイルで出力できるようにしたい。	入力控と顧客指示の目視対比審査の不確実性を可能な限り排除し、顧客指示（エクセル）とIDD/IDA登録事項の整合を関数等目視に頼らない運用が可能になる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-048	貨物	HCH	到着港コード【SPK】から【CTS】へ変更	新千歳国際空港の空港コードが都市コードのSPKである	空港コードとしてのCTSとして欲しい	旅客界隈もCTSへ変更済である中、貨物業界として未だに都市コードをNACCS利用する理由が判らない。社内システムはCTSであり、システム連携でデータを送信することが出来ず、マニュアルで変換している。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-049	通関	全コード	エラー内容について、エラーコードの表示ではなく、エラーメッセージを画面上で確認できるようにしてほしい	エラーコードをみて、そのエラーコードを検索して原因や対応策を確認する。	エラー内容について、エラーコードの表示のみではなく、エラーメッセージを画面上で確認できるようにしてほしい	エラーメッセージが画面上で確認できるようになることにより、都度エラーコード内容を検索・確認する作業時間の削減できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-050	通関	IDA	蔵置場所コードの自動入力	IDA時に蔵置場所コードを調べて入力している。	IAWに登録されている蔵置場所コードについては、貨物個数など同様に自動補完する様にして欲しい。	IDA後に蔵置場所コードが間違っていることにより発生する余分なIDA訂正作業、およびNACCS送信の回数を削減できる。同様の理由によるシステム負荷も軽減できる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-051	通関	IDA IDB	納期限延長における担保残高のアラート設定	IAS業務で担保残高をIDAの都度、確認している。	IDAやIDB時に納税額が担保残高をオーバーしている場合は、エラーコードやエラーメッセージを帳票やIDA画面上に表示してほしい。	担保不足のまま申告するケースが減り、担保不測による申告訂正を削減できる。同様の理由によるシステム負荷も軽減できる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-052	その他		常用漢字以外の入力があっても、帳票に出力できるよう対応してほしい（高など）	税関や関係省庁との連絡書の中で、常用漢字以外の場合、帳票が出力できない	連絡書で記入されている文字に、常用漢字以外が使用されていてもエラーにならないようNACCS仕様を見直してほしい	連絡書等の帳票がタイムリーに受け取ることができ、検査立会等の後続の作業が滞りなくすめられる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-053	通関	全コード	エラー内容について、帳票にもエラーメッセージを表示してほしい	エラーメッセージを表示するよう帳票を自社開発している。	エラー内容について、帳票にエラーメッセージを表示してほしい。	エラーメッセージが表示されることにより、都度エラーコード内容を確認する作業時間の削減および、エラーメッセージを表示するための自社開発作業がなくなる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-054	通関	IXX	通関以外の業務範囲（混載、航空代理店、海貨業者）でも利用できるようにしてほしい	通関業務以外のNACCS利用者コードでは利用できない	混載・航空代理店・海貨業者のNACCS利用者コードでもIXXの照会業務が利用できるようにしてほしい	IXXの照会業務は税関以外の関係省庁のステータスを確認するものであり、関係省庁の申請自体は通関以外も利用できるものなので、通関以外もステータス確認できるようにしてほしい。 もしくは、混載・航空代理店・海貨業者のNACCS利用者コードにて、IXXの更新情報をCSNで受信できるようにしてほしい。現状通関しか利用できないため、都度通関部署へ確認作業の発生、および、自社システム開発にて対応している。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-055	混載	ITS	航空代理店でも利用できるようにしてほしい	航空代理店でITSは利用出来ない	航空代理店でもITSを利用できるようにしてほしい	顧客との決済条件により搬出前や搬出直後など、BILL発行前に保管料の確認を行うケースが度々あるが、航空代理店では照会ができず、他の業務担当者へ確認する余分な作業が発生している。税関、航空会社、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場で利用できる業務なので、航空代理店でも利用できるようにしてほしい	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-056	保税	IWH	【照会パターン番号：09】の照会可能時間帯の制限をなくす。	在庫一覧を一括で出力可能となる【照会パターン番号：09】の利用に22:00～08:00の照会可能時間帯の制限がある。	【照会パターン番号：09】の照会可能時間帯の制限をなくし、保税蔵置場の在庫確認・棚卸し作業の都度在庫一覧表の一括出力を可能にする。	ある保税蔵置場施設では、現在【照会パターン番号01】を利用して最大20回送信している。本来なら時間帯制限なしで一度に全ページを出力できる機能があれば良いのですが、【照会パターン番号09】には利用可能時間帯(22:00～08:00)の制限がある為に作業工程が増えている。保税蔵置場施設ごとに在庫確認・帳票出力の時間が異なることを考慮すると、当仕様は現在の運用には適していないと考えます。	継続検討（翌年度）
R07-057	保税	IWH等の保税蔵置場業務全般	保税蔵置場業務メニュー全般において、業務メニューの『保税蔵置場』欄に「保税蔵置場コード」を初期表示する。	保税蔵置場業務用のNACCS利用者コードでログインしても、『保税蔵置場』欄に「保税蔵置場コード」を初期表示されない。	保税蔵置場業務用のNACCS利用者コードを利用する場合、『保税蔵置場』欄に「保税蔵置場コード」を初期表示させる。	『保税蔵置場業務用のNACCS利用者コード』と『保税蔵置場コード』はNACCS内で紐付けされ、利用出来る「保税蔵置場コード」は指定されている。未登録の「保税蔵置場コード」を入力した場合のエラーメッセージ：『入力者は貨物引渡登録業務の実施可能者でない。』が表示される。逆を言えば実施可能な「保税蔵置場コード」は定義されている。以上から、そのNACCS利用者コードに紐付けされている利用可能な「保税蔵置場コード」を初期表示させて、少しでも手入力作業の排除を図りたいので要望の理由です。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-058	通関	DLI02	DLI02「当初輸入申告呼出し（修正申告）」業務の利用可能時間の拡大	DLI02「当初申告情報呼出し（修正申告）」依頼の登録により、システム内部で当初輸入申告情報呼出し処理が起動する仕様となっていて、10:00から18:45の間に10分間隔で行われ、18:45以降に登録した場合は、翌日に起動する仕様となっている。貨物の引取を急ぐ通常の輸入申告を優先する必要があり、修正申告に対応できる時間が18:45以降となってしまう、呼出し処理が翌日以降となってしまう場合が散見され、業務効率が低下する一因となっている。	例えば、9:00から20:00までの登録分について、当日の呼出し処理となる仕様への変更をお願いします。（可能な範囲で、当日の呼出し処理となる時間を拡大お願い致します）	修正申告の業務効率向上につながり、波及効果として翌日の通常の輸入申告についても業務効率の向上（申告までの時間短縮）及び適正な輸入申告に寄与できると思っております。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-059	通関	AMA	修正申告履歴のアラート表示できる仕様	現在お客様により若しくは社内管理において確認出来れば過去のデーターを呼び出せるが、二度目若しくは複数回修正申告をしている事に気づかない時は当初申告と今回の修正申告という事と捉えてしまう	ひとつの申告において修正申告の履歴があることをアラート表示をし、当初の修正内容を引用出来るようになると更にスムーズに適正な修正申告の対応が可能になる。	履歴が判明することにより、税関からも指摘を受けず、事前に顧客と話し合い正しく修正申告が実施できる。また税関との往復時間も短縮でき、二度手間にならない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-060	通関	HYS	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについて	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについても、通関士IDでない場合も送信可能な仕様となっている。	通関士審査が必要なHYS業務（申請）については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	HYS送信時にエラーとなれば、通関士が確認に要する時間の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-061	通関	IAW	IAW等によって税関の審査開始時間等（進捗状況）が参照できる機能の追加	輸入申告において、審査区分が2・3等になった場合で許可までに時間が掛かる際、税関の審査状況等を確認する為、弊社から申告先税関へ電話による照会等しております。	IAW等のNACCS照会業務によって、税関の審査開始時間等が参照できる機能や、MSX等で送信した添付ファイルに対する開封確認等できる機能追加いただくよう仕様変更お願い致します。	弊社含めた通関業者から税関への電話による照会等が低減され、業務効率の向上（許可までの時間短縮）に寄与できると思慮いたします。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-062	通関	IDA	IDA時の減免税コード過入力の際、エラーとなる仕様の追加	民間航空機貿易に関する協定の対象産品（税番）、かつ関税無税、かつ原産地が協定国の場合、IDA時の減免税コード欄に「00111」を入力する必要がありますが、該当しない産品（税番）、原産地であっても入力可となっており、過入力したまま申告することが散見されます。 （申告先税関から指摘受け、申告後訂正や許可後訂正となることが散見されます）	入力不要な税番・原産地の場合、入力不可（エラー）となるよう仕様変更お願い致します。	輸入申告書類作成時並びに通関士による審査の際、入力要否を都度確認することが不要となり、業務効率の向上（申告までの時間短縮、許可後の税関含めた関係者の無用な業務等の低減）及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-063	通関	IDA	IDA時のインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）の追加	IDA入力時において、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）は「FOB」「C&I」「C&F」「CIF」の4種類となっており、それ以外のインボイス価格条件（建値）の場合、課税価格を自動計算させたいので、上記4種類のうち類似のコードを入力するが、この場合、実際取引の価格条件を「記事（税関）」欄に入力する必要あり。業務効率が低下する一因となっていることに加え、入力漏れ、入力間違い等が発生し、税関から指摘受け申告後訂正等となることが稀に発生。	例えば、「EXW」「FCA」等、使用される頻度の高いインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算される仕様への変更お願い致します。 （可能であれば、上記以外の建値についても追加お願い致します）	誤申告等の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-064	通関	IDA	IDA時の運賃について、妥当額を外れる場合に注意喚起メッセージが表示される仕様の追加	IDA入力時において、運賃の通貨単位を認識して入力（例：誤USD、正JPY）、書類作成者・審査通関士ともに遺憾ながら誤入力に気付けないまま申告、区分1で許可となる通関事故が発生。 ※重量(KG)あたりJPY31,759という航空運賃となっていた。	例えば、重量(KG)あたりの運賃がJPY1,000を超える場合やJPY10未満の場合、入力控に注意喚起メッセージが表示されるよう仕様変更お願い致します。 ・妥当金額の設定及び小口貨物（例：10KG未満の貨物）には表示させない、等は、 各通関業者（利用者コード別・航空/海上別）にてNSS等で随時設定、変更できる仕様希望。	入力控の注意喚起メッセージによって、輸入申告書類作成者・審査通関士ともに、運賃の誤入力に気付きやすくなり、修正申告・更正請求事案の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-065	通関		IDA、EDA時の申告先税関の初期表示について、現行より細かく設定できる仕様の追加	「認定通関業者用申告官署調査票」により、「5I」（中部空港税関支署）など初期表示される設定とした場合、一部の蔵置官署に蔵置される貨物のうち、一部の輸出入者に係る輸入申告及び輸出申告について、輸出入者からの要望等により蔵置官署へ申告する必要あり、都度IDA、EDAにおいて申告先税関を変更しております。	申告先税関の初期表示について、NSS等で利用者コード別、蔵置官署コード別、輸出申告・輸入申告別、輸出入者別に随時設定、変更できるよう仕様変更お願い致します。	IDA、EDAでの都度の変更が不要となり、業務効率の向上（申告までの時間短縮）及び輸出入者の要望等に対して間違いの発生しにくい状況になると思慮いたします。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-066	通関	EDA	EDA業務におけるインボイス番号等の入力桁数の変更	NACCS EDA業務におけるインボイス番号等の入力欄は35桁しか入力出来ず、全て入力出来ないことが多々あります。	インボイス番号等の入力欄は35桁から50桁に変更して欲しい。	荷主が輸出許可書の管理がし易くなり、通関業者の適正申告にも繋がります。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-067	通関	EDA	仕入れ書価格の通貨欄に複数の通貨コードを入力可能にしたい。	複数の通貨をそれぞれ円価に換算するか、どちらか一方の通貨に合わせて換算し税関記事欄に明細を記載している。	輸出申告入力控えを作成する際、複数の通貨コードを入力可能にして欲しい。	手計算で換算し仕入れ書価格を算出するより、機械で計算の方が正確であり入力時間を短縮できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-068	通関		BP申告の際に、担保番号が入っているとき、紙出力にも表示されて欲しい	担保番号が入っていても、紙出力には表示されていない。	紙出力における通関審査の際、番号が入っておらず、訂正になった。正しい審査をする上では、画面を見なくてはならないので、紙出力した結果にも反映して欲しい。	左に同じ	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-069	通関	EDA / IDA	コンボ共和国をNACCS申告の対象にしたい。	NACCS都市コードが適用されていない	NACCSで申告できるようにして欲しい	マニュアル申告は煩雑である	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-070	通関	IDA	海上の様に複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWB 1申告	IDAのAWB欄を複数欄に設定して欲しい	マニュアル申告となり、事前の税関への確認、納税手配等が発生し、これがNACCSで行えれば省力化につながる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-071	通関	IDA	輸入申告の包括保険番号の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	間違った枝番が入ってもそのままIDAできてしまう。（エラーにならない）	輸入申告の貨物保険の入力で、航空と海上とが枝番で識別されている場合誤った枝番が入力されたらエラーで事項登録ができないようガードをかけてほしい	航空と海上で保険料率が異なる場合があり、誤入力により課税価格の算出に誤りが生じる可能性があるため。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-072	貨物	B I I B I L B I C	搬入確認登録を取り消すための業務コードの設定	当該取消用のコードは無いことから搬出用の他コードによって一旦内貨引取を実施し、その後改めて輸出するためには、新たな貨物管理番号（AWB番号）を別途取得しなければ搬入確認登録を実施することができないなど業務手順が煩雑と思われる。	本船スケジュールの乱れなどを理由として保税搬入後に申告保留または輸出の延期を要する状況は想定される。現行システムではスケジュール等が確定するまでは保税蔵置状態を維持する運用となるが、その間の誤認による申告や貨物流出を懸念する。かかる曖昧な状況にあって内貨状態（未申告貨物）であるならば搬入登録を直ちに取消して内貨蔵置エリアに貨物を移動し、その後の確定にあっては同一の貨物管理番号（AWB番号）によって再度搬入確認登録できる仕様としていただきたい。	保税事故の抑制 業務手順の単純化 保税管理上の誤認防止	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-073	貨物	OLT BIN	海上貨物から航空貨物への切替時の仕様変更	CY等からCHG業務を行わずに搬出された場合、受け側の倉庫ではBIA業務を行い、汎用申請で海上貨物のデータ削除を依頼している。 合わせて、Air-NACCSにてBII業務を行い航空貨物として搬出を行っている。	CHG業務を行わずに搬出された場合でも受け側の倉庫で航空貨物に切替を行って搬入確認ができるようにしていただきたい。	航空貨物取扱倉庫側での業務簡素化が見込まれる。 (情報確認や汎用申請等の時間削減)	継続検討（翌年度）
R07-074	通関	IDA	EPA適用税番で『オーストラリア協定上の原産品で毎年 11 月から翌年 2 月末までに輸入されるもの』と限定している税番について特惠識別コードの入力制限を希望する	EPA適用税番で『オーストラリア協定上の原産品で毎年 11 月から翌年 2 月末までに輸入されるもの』と限定しているにも関わらずオーストラリア協定以外の特惠識別が入力ができてしまう。	EPA適用税番で『オーストラリア協定上の原産品で毎年 11 月から翌年 2 月末までに輸入されるもの』と限定しているにも関わらずオーストラリア協定以外の特惠識別を入力した場合エラーとして欲しい。	複雑化するEPA制度に対する誤申告防止	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-075	通関	IDA	輸入申告書に記載する納品先住所について	ローマ字表記のみ	所在地の住所表記を日本語も反映される様にして頂きたい	誤記の削減と、自社システムの変換作業の軽減	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-076	通関	GKA	GKA業務の輸出予定時期の記載方法について	17条の免税明細書(T-1340号)に基づき予定年月日まで記入出来ている	GKA業務では、17条案件の輸出予定時期が年・月までである為、日にちまで入力可能にしていきたい	社内・顧客で有効期間満了日を管理する為に有効である	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-077	通関	IDA	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1には、"Y"を表示しないで欲しい	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1については、全て"Y"（書類提出要）が表示される	e-COを利用した申告で区分1は、提出の必要がないにも関わらず"Y"が表示される。輸入承認証欄に"GENS""GENN"が入力された場合は、"Y"を表示しない仕様にして欲しい	IDI 輸入申告等一覧照会－照会種別"L"通関関係書類未提出一覧で提出漏れを確認しているが、実態が一致しない	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-078	通関	IDA	蔵置場所コードの自動入力	IDA時に蔵置場所コードを調べて入力している。	搬入済みの貨物については、自動的に蔵置場所コードを引いてくる（上書きする）仕様にして欲しい。	IDAを行った後に蔵置場所コードが間違っていることに気づき、IDBする手間や利用料金を減らせる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-079	通関	IDA(IDB)	納期限延長における担保残高のアラート設定	IAS業務で担保残高をIDAの都度、確認している。	IDA(IDB)時に納税額が担保残高をオーバーしている場合は、アラートを出力して欲しい。	担保不足のまま申告することが無くなるので、スムーズな輸入通関が可能になる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-080	通関	IDA	グリッド機能対象業務の拡大。	手入力もしくはCSVファイルでの取り込みとなっており効率が悪い。	グリッド機能拡大の対象業務に申告事項登録（EDA,IDA）を加えて頂きたい。	時間短縮の上、正確な登録が可能となり非違・誤謬の削減につながる。また、自動化に向けての選択肢が増える。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-081	通関	IDB	航空輸入において申告税関が変更となった際、申告番号の取得し直しを可能にしていきたい。	海上輸入では申告番号を消してIDBすることで、申告官署に対応する新たな申告番号の取得が可能だが、航空輸入は非活性になっており再入力が必要となる。	航空輸入においても海上輸入と同様の仕様として頂きたい。	申告先変更の際の業務効率化。	2026年度プログラム変更実施案件

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-082	通関	ICG/IAW	貨物が上屋で搬入確認されたタイミングで自動出力もしくはMAIL等で通知される様にしていきたい。	都度の確認。	搬入状況を随時確認する必要があり効率が悪い。	他法令など税関申告以外で搬入後の手続きを要する場合に、遅滞なく申請等が可能となる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-084	通関	MSX	MSXの送信容量の拡大	システムの範囲内で実施。	容量を拡大して頂きたい。	電話連絡や容量不足による再送信を無くすことによる業務効率化。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-085	通関	IFA	食品申請に関して食品監視課から送られてくる連絡書の文字数を増やして頂きたい。	1枚につき3行程度で複数枚送付されることがある。	食品監視課から送信できる文字数を拡大して頂きたい。	受信枚数が少なくなることで、業務の効率化や紛失が防止できる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-086	通関	EDA	時間外申告に於ける自由化申告の申告先種別に誤りがある時、エラーとなり送信不可としてほしい。	自由化申告の申告先種別は『E』だが、誤って『R』を入力しても送信可。逆はエラーとなり送信不可。	左記に同じ。(要望の概要に同じ。)	誤申告の削減に繋がる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-087	通関	IGS	指定情報⇒『ENTS』での搬入確認実施予定者欄を蔵置場コードにしてほしい。	現在は蔵置場コードではなく利用者コード。	左記に同じ。(要望の概要に同じ。)	搬入予定地については、全て蔵置場コードで認識し要る為。また、各倉庫の利用者コードは原則、利用者でないと知り得ない為。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-088	通関	全コード	エラー発生時にエラーコードではなく、エラーメッセージに変更してほしい。	エラー発生時にはエラーコードが表示され、そのエラーコードを検索して原因等を確認。	左記に同じ。(要望の概要に同じ。)	コードからメッセージへ変更する事で検索時間が短縮され業務効率に繋がる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-089	通関	ECR	船舶コードと船社コードをリンクさせてほしい。	船舶コード、船社コードを入力。	船舶コードを入力する事で、船社コードを自動的に反映されるようにしてほしい。	船社コードを確認、入力する事が省略され業務効率に繋がる。また、船舶コード・船社コードがリンクされる事で誤申告削減にも繋がる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-090	通関	UTB	通関士登録/削除に際し、利用者コードごとにIDを切り替えて登録しなくてもよい方法にしてほしい	UTB登録時、利用者コードごとにIDの切り替えを行っている	事業所コード単位で、利用者コードを一覧で出し、登録・削除の作業を可能とする	IDの切替操作は煩雑で手間がかかり、登録誤りなどのリスクがある。 要望の実施により、上記内容を改善できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-091	通関	UTB	通関士登録に際し、誤った証票番号の入力防止の機能を追加してほしい	他通関営業所に所属する通関士の番号でも登録できてしまう（エラーとならない）	通関士登録に際し、通関業監督官より発行された証票番号と利用者コードを税関側（NACCS側）で紐付け、紐づいていない通関士コードを入力した場合はエラーとなるようにする。	国家資格である通関士のUTB登録において単なる入力ミスで他通関営業所の通関士コードが利用できてしまう問題点がある システムの改善により、ミス防止、適正な管理につながる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-092	通関	MSX	MSXの送信容量の拡大、または容量が多い書類の提出方法の別方法の追加	システム要件の範囲内で実施。容量オーバーの場合は窓口提出を行っている	容量を拡大または、14条の鑑定資料など容量の多い書類を送付の場合は、通常のMSX業務とは別の電子書類送付の方法を追加で受付が可能としてほしい	容量オーバーにより窓口提出となる場合、提出までの時間が要することにより許可の遅延につながる。また物理的な移動が発生するため、労力がかかる。早期許可、提出業務の負担軽減による業務効率化。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-093	通関	MSX	複数配送先リスト添付が必要な輸入申告で審査区分識別を細分化してほしい（区分1）	第7次更改NACCSで、審査区分は1Yの予定	1Yとされている審査区分識別を細分化 ①従来の審査区分1Yの申告書類の提出 ②複数配送先リストのみ提出 ③複数配送先リスト+申告書類提出	審査区分識別の細分化により、MSXで提出すべき書類がどれにあたるかを、誤りなく判断できるようになる。MSX業務の作業を行う際、提出書類が異なるグループに分けられることで作業が簡便になり、送付誤りを防ぐ。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-094	海上入出港	CLR など	コンテナ再利用期間について 輸出の再利用期間が短か過ぎるため延長して欲しい	最終更新日から4日で可能となる。	保税管理中の輸出許可済コンテナ情報が他社の誤登録により消えてしまった。対処に時間を取られ、荷役計画にも影響を及ぼしかねなかった。積コンテナリストはマニュアル許可済みとして取得できたが、船積登録（搬出記帳）ができずにマニュアル管理することとなった。	わずか4日で輸入コンテナとしてマニフェスト登録が必要なケースは考えにくく、保税管理中の貨物が原因不明で（誤登録をすぐに取り消された為、何も情報を確認できなかった）消えてしまうことは問題ではないかと思う	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-095	海上入出港	管理資料	管理資料の搬出取り消しの反映を、なくして欲しい	搬出取り消しを行った貨物の情報が載っている。	搬出取消は反映せずに最終的な搬出のみ反映させて欲しい。最初の搬出登録、それを取り消した履歴、さらに最終的な搬出登録 と3行出てくるのでわかりにくい。また、取消履歴がどの搬出登録のものなのかわからない。	搬出を取り消したものは帳簿する必要はないように思う	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-096	通関	CKO	輸出貨物でCKO の履歴が反映するとよい	輸出貨物についてCKO の履歴は反映されない	輸出貨物は輸入貨物と違い、CYO する必要がないためCKO の履歴が不要 と伺ったが ICG でCKO の履歴を確認したい	輸出許可状況確認の際に、ICG で検査指定となっていることがわかると便利である	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-097	通関	IDA,EDA	入力枠の文字数	現在：20文字 希望：30文字	入力枠の文字数について増やしてほしい (20文字の制限から30文字あたりまで)	現行の文字数では取まらない内容がある為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-098	通関	IDA,EDA,ECR等	使用禁止文字の拡大	使用出来ない文字の存在	_（アンダーバー）や*（アスタリスク）等、現在使用出来ない文字の使用可能な拡大を希望	通関書類上記載があっても、NACCSでは使用出来ない為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-099	通関	ECR	ECR業務上の品名欄の全角文字の使用	全角の文字が入っていると品名がブランク表示となり、記載が無いという扱いでエラーとなっている	全角文字の認識を可能としてほしい (ローマ字・ハイフン・スペース等)	品名を入力していても全角扱いで記載内容が消えてしまう為	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-100	通関	IDA,EDA	最終仕向地コードで反映される港の表示拡大	5桁の仕向地コードから名称が反映されているが、名称が切れている【添付資料あり】	表示が全て出るように拡大してほしい	こちらで認識している仕向地コードと異なる表記、あるいは切れた状態での表示の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-101	通関	IDA	ICG情報からの「入港日」の反映	輸入申告時、貨物情報があり入港日が入力された状態でIDA画面上では入港日をブランクにしていた場合、入港日が反映されない	貨物情報・入港日の入力がある状態で、IDA画面上では入港日をブランクとしていた場合、入港日をICG情報通りに反映させてほしい	入港日について手入力を行っている為 (ICG画面を開いて確認後、入力)	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-102	通関	IDA,EDA	航空の積込港コード「NGA」「NGO」の取り扱いについて	航空フォワーダーから入手する搬入伝票では「NGO」の表記となっているが、EDA画面上では「NGA」に変わっている	EDA上、「NGO」は使用できない（国内便の空港？）為、NGA/NGOの名古屋空港（セントレア）の区別を明確にしてほしい	搬入伝票の表示と許可書の積込港コードが異なる為（NGA/NGO）	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-103	通関	ECR	船舶コードについて	NACCS上（IVK）で同一の船舶名でのコードが二重に存在しているものがある（古いコードと新しいコードの存在/古いコード分が削除されていない） ※船会社の区別は考えず	同一船舶名の登録が為される場合には、登録時にエラー表記等の注意喚起表示など、同一の船会社で同一の船舶が登録されないような仕組みの構築をお願いしたい	通関上の船舶コード訂正の事案が生じている為	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-104	通関	IDA	IDAの貨物識別欄のL：外交官貨物を免税コード（定率法16条）とリンクして頂きたい。	減免税コードを入れても、警告表示が出ない	定率法16条の減免税コードを入力＝外交官貨物（貨物識別：L/外交官貨物）は明らかなので、入力がない場合、警告が出るなど欲しい	非違防止	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-105	海上入出港		内航船の出港届を出すときの呼び出し検索	船舶基本状況登録・入港前統一申請・出港届のみ	内航船の出港届を出すとき呼び出し検索で入出港届が出てこないの増やしてほしい	入出港届と出港届を別々に入力している為誤送信の可能性はある。正しい情報と時間短縮	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-106	通関	IDB	IDBをB/L番号で呼び出した場合の保税地域コード	搬入が上がってICGで保税地域コードが確認できるのにもかかわらずIDBをB/L番号で呼び出すとブランクとなっている	保税地域コードを反映させてほしい	自動入力となり、ミス防止になる	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-107	通関	VAA11	VAA11で数量だけでなく、重量も減って欲しい	現在は入力した数量だけ減っていて、入力した重量は変化がない。	重量も減って欲しい。	正確に入力できたか一目でわかる。手入力が不要に出来る。	2026年度プログラム変更実施案件
R07-108	通関	IDC	電子原産地証明書(e-CO)を利用したの輸入申告時の審査区分	電子原産地証明書(e-CO)を利用したの輸入申告時に審査区分が1Yとなり、書類を提出するケースがある。	電子原産地証明書(e-CO)を利用したの申告時に審査区分が1となり、e-COの提出が不要となるようにしてほしい。	MSXで書類を添付する必要がなくなり、時間削減効果がある。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-109	その他		禁止文字の扱い	第7次nacccsでACL業務で今まで利用出来なかった・「_(アンダーバー)」、及び「~(チルダ)」の入力が可能となった。	ACL以外の業務でも同様に禁止文字を利用可能としてもらいたい。	禁止文字を統一することで、入力ミスにより間違えが減少する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-110	通関	ECR	貨物情報登録時のエラーのアラートについて	貨物情報ECR登録時の重量入力箇所、重さがイコールもしくは、最初に入力した重量範囲内であればエラーが出るが、入力範囲以上の重さで入力するとそのまま出力されてしまう。	重量の入力範囲外の大きい重量であっても、アラートでエラーになってほしい	ECRを取り消すのが手間である	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-111	貨物	BOC	BOCの搬出確認登録で相当先の日付で入力された場合には注意喚起アラートで知らせてほしい	搬出確認登録の相当な未来日でも入力できてしまう。（例えば1ヶ月後でも）	随分先の日付の場合は注意アラートで知らせてほしい	気が付かないと保税上の事故になりうる	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-112	通関	IDA	税金の納付方法等のコード	税金の納付方法等がブランクだと直納になってしまう。	納付方法等が直納のコードを作してほしい。	タイプミスで納付方法等をブランクにしてしまうと直納になってしまう、というミスを防ぐため。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-113	通関	IDA,EDA	仕向人（輸出）・仕出人（輸入）の住所入力欄について	仕向人（輸出）・仕出人（輸入）の住所入力欄が四つ分かれている。	四つに分けないで一つにしてほしい。	住所をエクセル等からコピーしてIDA,EDAにペーストするときに、一回でできた方が早いので。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-114	貨物	ACL01	共通部2と繰返部のグロス重量・グロス容積に差異がある場合、送信できないようにしてほしい	共通部2と繰返部のグロス重量・グロス容積に差異がある場合、送信し終わった後に「グロス重量・グロス容積差異に差異がある」旨の業務メッセージがCOMPLETIONの下に出る。	共通部2と繰返部のグロス重量・グロス容積に差異がある場合、送信できないようにしてほしい。	タイプミスを防ぐため。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-115	その他	全般	EXC型帳票電文をパッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	6次NACCSではゲートウェイ(GW)配下用のパッケージソフトが提供されているため、GWサーバの設定により自社システムとパッケージソフトの2箇所に各種電文を出力している。業務担当者は帳票電文をパッケージソフトで確認・出力している。	INQ/EXZ型と同様に、パッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。 自社システム（メール処理方式）の電文出力設定機能強化でEXC型のみ除外されてしまったが、再検討いただきたい。	システムの後続処理で帳票電文を使っており、この宛先を自社メールボックスから変えるわけにはいかない。一方で業務担当者はパッケージソフトの機能で帳票出力、保管などを行なっているが、パッケージソフトで実装されている全ての機能を自社システムで網羅するのは非現実的なため。	継続検討（翌年度）
R07-116	その他	全般	INQ/EXZ/EXC型の各種電文(処理結果通知等)をパッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	6次NACCSではゲートウェイ(GW)配下用のパッケージソフトが提供されているため、GWサーバの設定により自社システムとパッケージソフトの2箇所に各種電文を出力している。業務担当者は各種電文(処理結果通知等)をパッケージソフトで確認、必要に応じてリカバリー等をしている。	帳票電文のみならずそれ以外の電文についても、パッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	システムの後続処理で各種受信電文を使っており、この宛先を自社メールボックスから変えるわけにはいかない。一方で業務担当者はパッケージソフトの機能で全ての処理結果の確認、必要に応じてリカバリーなどを行なっているが、パッケージソフトで実装されている全ての機能を自社システムで網羅するのは非現実的なため。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-117	その他		ツールバー下のアイコン型の各種設定・実行ボタンのカスタマイズ機能の搭載について	第7次NACCSの現時点で左寄り「外部ファイルを開く」「名前を付けて保存」「印刷」のような誰もが使う機能が大きいアイコンとなってボタンとして押しやすいようになっている。おおまかな業務ごとにまとめられており、そのまとまり毎の位置は多少ずらすことが可能となっているが、まとまり毎のカスタマイズ等はおこなえない	ユーザーでボタンの並び替えもしくはボタンの増減ができるよと良い（例えば送信ボタンを追加、ログイン・ログオフは押し間違い防止のため一番右と左に寄せ固める等）	大きくしたもので以外で使う機能が個人・会社により差がある。大きくしたことで画面占有率が増して使いにくさも出てきている。ただし並び替えやアイコンの増減が自分たちで出来ることで業務効率化がアップできる	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-118	貨物	SHS,CHJ	仕分け項目数の増加	20項目を超える仕分けが出来ないため、再度の仕分けが必要となる。	1度に30～50項目程度の仕分けが可能な様に 変更頂きたい。	業務効率の向上	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-119	通関	IDA等	配送先日本語(2バイト)入力許可	英文字入力のみとなっているので、日本語を見ながら、若しくはシステムでの変換が必要	英文字に加えて、日本語(2バイト)の入力を可能としてほしい。	システム化が難しい店社の利便性向上 入力ミスの軽減	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-120	海上入出港	IVS	情報反映速度の向上	本船スケジュールの変更があった場合の情報反映が遅い場合がある	本船スケジュールの変更があった場合 船社HP並みのスピードで反映して頂きたい	RPAでの自動検索が可能となる	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-121	貨物	ACL01	ICS2必要情報を記載出来る項目を追加してほしい	現在はメールにてお客様より必要情報を取得し手入力にて弊社システムに追記している	EORI#欄、Seller欄、Buyer欄、Filing type欄(F10,F11,F12,F13)、代行送信用House BL情報入力欄、危険品CUS code	BL作成の正確性、生産性向上が見込まれる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-122	貨物	ACL01	統計品目・代表番号を6桁必須にしてほしい	現在は4桁でも入力可能となっており2桁は弊社で選択し弊社システムに追記している	現在6桁のHS codeは他国でほぼ標準となっているので桁数が足りない場合は送信エラーとなるようにしてほしい。		他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-123	貨物	ACL01	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張	現在は文字数に制限があり、制限文字数を超える場合には、入力不可となっている。	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張してデータとして受信できる文字数を増やして欲しい。	現在の文字数制限により、入りきらない情報は別途アタッチシートで送付するという運用が一般的になっていますが、文字数制限を撤廃または拡張することで、ACLデータの正確性が向上し、アタッチメントによる提出に伴う不透明さが解消されることが期待できます。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-124	貨物	ACL01	米国向け貨物におけるHouse BL情報の送信許可	現在はACLに入力する項目が無いので、必要情報を荷主からメールにて取得している	米国向けの貨物について、House BL情報の送信を可能として欲しい	Actual Shipper及びConsigneeがデータ化されることにより、情報の正確性の向上が見込まれます	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-125	貨物	ACL01	ACL送信者のメールアドレスの表示	現在は送信者のID及びメールアドレスは入力箇所及び表示箇所が無い	ACL Sender のメールアドレスを表示できるようにしてほしい	システム内でのコミュニケーションと透明性が向上します	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-126	貨物	ACL01	コンテナごとの製品説明とマークの送信	現在は、貨物毎に品名欄及びマークを分けて送信することは可能ですが、該当コンテナを指定できない仕組み	コンテナごとに品名欄とマークを紐つけて送信できるようにほしい	コンテナ毎の品名が記載されることで貨物情報の正確性が向上します	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-127	貨物	ACL01	運賃支払条件の詳細な設定	現在はPrepaid もしくはCollectの選択のみ可能	Origin Charge, Sea Freight, Destination Chargeについて、それぞれ支払い条件を設定できるようにしてほしい	Invoice作成の正確性、生産性向上が見込まれる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-128	通関	MOA	車両特定番号欄に、MOTASに登録されていない車台番号を入力した場合、エラーメッセージを出力	誤入力していてもエラー出力されず、輸出申告後に原紙提出が必要な審査区分記号が出て入力を誤ったかもしれないと気付く。	輸出整理番号と車体番号の組み合わせがMOTASの登録と合致しない場合は、エラーメッセージを出力してほしい	申告後の訂正を削減したい、MOA登録内容のチェック時間削減ができ効率化	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-129	通関	IDA	輸入取引者の担保登録番号が入力された場合、エラーメッセージを出力	エラーメッセージは出力されない	輸入取引者の担保を提供するには条件があるが、条件を満たしているか注意喚起のエラーメッセージを出してほしい。	条件を満たしていない場合でも輸入申告ができ、誤って許可される場合があり、その後の対応が複雑なため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-130	貨物	EAM	積込港一括変更の変更	最大30件しか積込港が変更できない	最大件数を増加させるか、MAWBに紐づいている貨物全てを1回で積込港を変更させてほしい	1000件の積込港を変更する際に、送信業務を30回以上行わなければならない	継続検討（翌年度）
R07-131	通関	IES	搬入にかかわらず、審査未完了のWBが出る紹介種別を作してほしい。	J:未許可申告一覧（搬入後）に加えて、搬入にかかわらず未許可申告一覧を出せるようにしてほしい。	搬入のタイミングにかかわらず、税関審査が完了していないものを確認したい。	通関側では搬入にかかわらず確認したい。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-132	通関	EDA01, EDE	輸出申告後、天候などの理由により搬入予定蔵置場所が官署を超えて発生した場合に、輸入同様変更できるようにしてほしい。	官署を超えて蔵置場所が変更になる場合には、申告撤回を行い申告書を作り直し、新規で申告をし直す必要がある。	輸出でも予備申告ではないが、事前申告での処理を行っているものがほとんどであり、影響は輸入と変わらないので、導入を検討してほしい。	官署を超えて蔵置場所が変更になる場合には、申告撤回を行い申告書を作り直し、新規で申告をし直す必要がある。	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-133	通関	IDA	原産地と原産地証明書識別コードの連動	原産地と該当しない証明書の識別コードを入力してもそのまま作成できる。	連動していないときは制限をかけるか、エラーメッセージの表示を要望する。	証明書識別コード誤りの削減。	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-134	通関	IDA	EPA等原産地識別コードの判別機能	特になし	原産地識別コードでFTA等特惠適用に該当しない原産国でも入力できてしまうため(例：MY-EUI4)各協定に該当しない国を入力した場合にはアラートができないか。	適正申告並びに単純なミスの防止にも繋がる	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-135	通関	IDA	IDAの申告欄数の増加	1申告の申告欄数99欄まで	1申告の申告欄数を199欄まで増やしてほしい	アイテム毎・国毎に欄を分けて申告してほしいという要望の輸入者があり、99欄を超えることが多く、その際はデータ仕分けが必要となる為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-136	通関	IDC	日タイEPA(e-C/O)の品目数が99を超える場合、一の輸入申告として申告できない	IDA時点ではエラーとならず、IDC時にエラーコードE0610が出て申告ができない	日タイEPA(e-C/O)の品目数が99を超える場合でも、一の輸入申告として申告できるように改善を希望	理由：品目数が多い申告ほどe-C/Oのメリットが活かせるはずが、現在の仕様ではその恩恵を受けることができない。 タイ側より、なぜe-C/Oデータが日本で受信できているにもかかわらず申告ができないのかと問い合わせが来ている。 効果：コスト削減、真正性の確保、適正かつ迅速な通関が可能	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-137	通関	IDA IDB	水産流通適正化法の対象となるHS CODEの輸入申告入力控を作成した際に、「水産流通適正化法の対象となるHS CODEである」旨のワーニングがでるようにしてほしい。	とくにワーニングは出ない	概要の通り。	適正採捕証明書の提出漏れや番号の入力漏れを防ぐ効果がある	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-138	その他	-	NACCSの履歴表示画面で更新されたものを一番上に表示してほしい（以前はできていた画面を自動スクロールに戻してほしい）	NACCSの履歴表示画面で、NACCSから最新情報の配信があっても、履歴表示画面の位置が変わらないので、最新情報の有無がスクロールしないとわからない。	今回、7次NACCSの新機能として、貨物状況通知サービス【CSN】業務が導入されており、最新情報が一番上に表示される設定にしないと、通知が届いても、すぐには確認できない	貨物状況通知サービス【CSN】業務は最新情報をいち早く確認するために必要だが、履歴画面が固定され、最新履歴が画面外に表示されても、すぐには確認できないため。	2026年度プログラム変更実施案件
R07-139	通関	IDA IDB	許可後の運送先欄について住所・名称等 欄の入力を日本語入力可として欲しい	許可後の運送先欄について住所・名称等 欄の入力は英数のみ可能となっている	許可後の運送先欄について住所・名称等 欄の入力を日本語入力可として欲しい	輸入者からの連絡は日本語で記載されたものがほとんどであり、変換の必要が生じている	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-140	通関	IDA IDB	許可後の運送先欄について住所・名称等 欄について、運送場所識別に通関倉庫での売り渡しとして項目を追加してほしい	許可後の運送先欄について住所・名称等 欄の入力は英数のみ可能となり、保税コードがある倉庫でも、住所・名称等の入力が必要である。	許可後の運送先欄について、通関時蔵置倉庫での名義変更での販売となるのが多数ある。その際は、住所・名称等欄を入力させるのではなく、識別符号の入力することで、住所・名称等の入力を省略させてほしい。	通関時蔵置倉庫での名義変更での販売となるのが多数あるので、入力作業を軽減させていただきたい。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-141	通関	IDA(SIS)	蔵入等承認申請入力控のタイトルの変更	蔵置場所へのIS申請なのか、別の保税地域への併せ運送なのか、入力控えではわからない	ISにおいて併せ運送の場合は、蔵入等承認申請入力控だけでなく、保税運送承認申告兼用の表示を頂きたい	蔵置場所へのISの意図のものが、手違いにより別の保税地域コードを入力/申告に至り、意図せず併せ運送IS申請となった	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-142	通関	EDA	仕向人住所欄が4つに分かれているがこれを1つの欄に統合し文字数を増やしてほしい	仕向人住所欄が4つに分かれている	1つの欄に統合し、4つの欄分の文字数にしてほしい	入力自動化の障壁となるため まだ自動化していないが毎月3000件以上輸出申告している	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-143	通関	EDA	入力情報特定番号欄の文字数増と日本語入力可能にしてほしい	10文字	30文字程度入力できるようにしてほしい。同時に日本語入力も可能にしてほしい	入力データ分類の為 弊社では一度送った事項登録などを再利用し新たな事項登録しているが、その分類に利用したい。 10文字ではちょっと少ない	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-144	通関	IDA	欄の追加(EXCELで言う行の挿入) が出来るようにしてほしい	欄の追加はできず、訂正部分から入力し直し	1欄¥100 2欄¥200 3欄¥300と入力した後に、例えば2欄の計算をミスしており2欄を¥150と¥50に分ける場合、2欄を¥200から¥150に訂正、3欄を¥300から¥50に訂正、4欄に¥300を入力しなければならぬ	現状では間違っていない入力も追加で入力しなければならず、（左の例で言えば3欄の¥300を4欄に再入力しなければならない）その再入力を再チェックする必要がある。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-145	通関	IDA	e-COが1申告につき99欄までしか使えない、という制限を無くしてほしい	e-COが100欄以上ある場合、申告を2つに分けなければならない	e-COが100欄を超える申告があるので、その度に申告を分け、OAC業務で登録しなければならない。	外地では300欄でも電子証明書が発給され、日本でも受信は出来るのに、申告する際に99欄までの制限があるとスピーディーな通関にならない。 （紙の方が早い）	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-146	通関	OAC	1欄ずつの登録ではなく、連番でも登録できるようにしてほしい	1欄ずつ登録画面で入力しなければならない	1欄ずつの入力ではなく、連番で登録できるようにしてほしい。現在は【欄番号0001入力 ⇒ 内取方法1～3を選択 ⇒ ページ送り ⇒ 欄番号0002入力 ⇒ 内取方法1～3を選択 ⇒ ページ送り】の繰り返し。同じ内取方法なら連番で登録できるようにしてもらえると助かります。	e-COが300欄を超える申告もあるので、これを1欄ずつ登録する手間が減る。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-147	通関	IOV	照会区分B、申告番号で照会した際、20欄ごとに送信しなければならない制限を無くしてほしい	照会区分B、申告番号で照会した際、20欄までしか確認できず、21欄以降を確認する為に送信が必要（41欄、61欄と20欄ごとに送信が必要になる）	照会区分B、申告番号で照会した際、20欄ごとに送信しなければならない制限を無くしてほしい	上記OACでせっかくなら99欄までの登録をしても、確認は20欄ずつしかできない、という不合理な設定が無くなれば手間が減ります。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-148	通関	IDA	運送場所所在地住所のマスタ化	IDA入力時に直接入力となっている	IDA運送場所の所在地の郵便番号欄に郵便番号を入力して送信するとそれに紐づく英文の住所を自動で呼び出して欲しい（輸出入者番号のようなイメージ）。郵便番号のデータベースは郵便局のホームページよりダウンロード可能となっている。	現在は郵便番号が主流であるが、今後デジタルアドレスの普及が見込まれており、所在地の住所入力自動化できると考えます	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-149	通関	MOA	輸出自動車情報登録（MOA）における車両特定番号の自動出力	道路運送車両法における輸出抹消仮登録を証明するため、中古車1台ごとに輸出整理番号と車両特定番号を入力している。	輸出自動車情報登録で輸出整理番号を入力すれば、車両特定番号を自動で出力してほしい。それが不可の場合、車両特定番号を入力すれば、輸出整理番号を自動で出力してほしい。	輸出整理番号は国土交通省が管理するための1台に1つの固有番号であり、輸出整理番号で車両は特定されるため、その番号を入力すれば十分と考える。中古自動車1台ごとに輸出整理番号を入力し、更に車両特定番号を入力する必要があり、多大な工数を要している。又、車両特定番号は英字・数字が混在する12桁程度からなっており、「-」の有無もあり、タイプミスが起き易い番号である。車両特定番号が自動出力されると大幅な工数低減と誤謬低減が見込まれる。過去に何度か同じような要望を出しているが進展がないため、車両特定番号の自動出力が不可であれば、車両特定番号を入力すれば、輸出整理番号を自動で出力することを要望する。	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-150	通関	MOA	輸出自動車情報登録（MOA）二重登録の際のワーニング表示	過去に輸出自動車情報登録後に輸出申告・許可となった中古車の情報であっても輸出自動車情報登録ができ、エラーがないまま輸出申告（EDC）まで行ってしまう仕様。	過去に輸出自動車情報登録後に輸出申告・許可となり、残ったままの中古車の情報を輸出自動車情報登録した場合には、ワーニング表示又はエラーとしてほしい。	過去に輸出自動車情報登録した中古車であっても輸出申告ができてしまい、原本提出「T」は表示されるが、どの中古車で不具合となっているかも分からない。輸出自動車情報登録の際にワーニング表示又はエラーとなれば、その時点で輸出者へ輸出抹消仮登録証明書・輸出予定届出証明書の原本の送付を依頼できる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-151	通関	IES.SEA	輸出申告等一覧照会（IES）出力項目へ輸出者名の追加	輸出申告等に係る未許可等の手続・許可状況を照会し確認しているが、出力項目に輸出者名はない。	出力項目に輸出者名を追加してほしい。	法人番号は出力されるが、輸出者名は出力されない。そのため、どの輸出者の申告が未許可なのか分からず、輸出入者情報照会「IIE」や輸出申告等照会「IEX」で輸出者名を調べ直す必要がある。輸出者名が出力されると他業務で照会する工数が削減され、業務料金も削減される。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-152	通関	該当なし	輸入の別送品についてもNACCSで処理できるようにしてほしい	該当なし	輸出はNACCSで処理できる別送品の扱いについて、申請、納付、許可書の発行を全てNACCSで処理できるようにしてほしい。	申請、納付、許可書の引取全てマニュアル処理である為、税関、金融機関に都度出向く必要があるため効率が悪すぎる	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。
R07-153	通関	IDA	合板（税表番号 4412.31-9122～9520, 9181～9586/4412.33-9116～9934/4412. 34-9115～9933/4412.399106～9924）において申告書の製品名に厚みサイズが表示されるようにしてほしい。	4412.31-9111～9516はサイズが表示されている。	申告書類の品名欄に厚さの範囲が表示されるようにしてほしい。	内容チェックをする際に確認がし易い。（以前は表示されており非違回避の要因になっていた）	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-154	通関	EDA	NACCS用コードの自動配番	欄部の「輸出統計品目番号」欄右の「NACCS用コード」欄が入力必須となっている。	「NACCS用コード」欄がブランクの場合は、NACCS用コードが自動で配番されてほしい。	特定輸出者等が管理する輸出統計品目番号リストには、NACCS用コードまで管理されていない場合があり（輸出者にとってはNACCSコードは必要がない為）、通関部門の方でNACCSコードを調べる必要があるため	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-155	通関	IIF	最新状況に更新	FDで訂正後、枝番（1になった番号）でIIFを見ても訂正前にOKになったままで更新されない。	訂正後の審査進行状況をリアルタイムで確認できるようにしてもらいたい	問い合わせのための電話やCFH業務が減って効率が上がる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-156	通関	IFC	同一荷主のまとめ申請	1件ずつ申請番号入力→送信	同一荷主は複数件の一括送信が可能（同一の本船、B/Lに限る）	申請の際のパスワード入力が1回になり、作業時間の大幅な短縮につながる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-157	通関	IIF	荷主ごとの照会を可能にする	1件ずつ照会	輸入者コードと申請日を入力することで申請番号と審査状況を照会できる。	作業時間の大幅な短縮につながる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-158	通関	IFC	検疫所側の品名欄・記事欄・連絡票の入力文字数を増やす	検疫所側の入力可能文字数が少ないため、NACCS利用者側に出力される連絡票が何枚も出力される。	用紙を1枚で済むように入力可能文字数を倍以上増やす等のプログラム変更を行う。	用紙の無駄を省ける	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-159	通関	IDC	IBP未審査分、または本送信されていない申告の終了をさせない	税関の誤操作によって価格未決定にもかかわらず、納付が完了してしまった事例が過去に複数回発生した。	貿易形態番号がBP-548,IBP-57であることから、57に変更のないものは税関、業者双方でエラーがかかるようにする。特に税関サイドのシステムでのエラー防止のプログラム変更を要望します。	ファイナルインボイス提出前の許可が上がるのを防ぐ	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-160	通関	EDA	コンテナ扱い申告時にコンテナ本数空欄は必須入力項目にする	VAN登録がされていてもコンテナ本数空欄でEDCが送信できてしまう	VAN,VAE登録業務のあった輸出申告は本数空欄では申告できない仕様にする	許可後の訂正がなくなる	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-161	通関	EAA/EAC	訂正項目表示欄の増量	本船名、出航日などがあるが、コンテナ本数の訂正は項目がない	訂正項目のないものはその他欄に訂正後が出るようにしてほしい	EAB業務時の備考欄入力作業の削減と訂正箇所の確認がしやすくなる。	継続検討（翌年度）
R07-162	通関	IDA	原産地コードをUN(UNKNOWN)にしないと識別コードNが入力できないようにする	原産地識別コードNは原産地をUN(UNKNOWN)にしないと入らないようにする。またはIDAで原産地識別コードに「N」を入力した際に、何らかのエラーとなるようにする。	原産地識別コードNは原産地をUN(UNKNOWN)にしないと入らないようにする。またはエラーメッセージを出す。	誤入力のまま税率の間違いに気づきにくい事象が解消される。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-163	通関	I51	輸入一覧データに表示される修正申告の内容について	表示内容は修正申告完了日（納付日）、修正申告番号、官署、部門、輸入者名、申告種別、社内整理用番号、欄数、続枚数	通関明細簿に記載が必要な項目として代表税番、個数、単位、重量も表示されるようにしてもらいたい。また当初申告が分かるように当初申告番号の項目も追加してほしい。	修正申告後に一覧データへ追記する作業が軽減され、業務時間の短縮につながる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-164	通関	H01/I51	輸出及び輸入一覧データの各項目の取込みデータ(漢字・英数字)の後ろスペースを消す	取り込んだ各項目のデータの後ろにスペースが張り付いている。	輸出及び輸入一覧データの各項目の取込みデータ(漢字・英数字)の後ろスペースを消す。	各項目のデータに対してエクセル計算式等が"スペース"のために直接使えない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-165	通関	IDA	他法令コードと番号のリンク	CR,PDなどは他法令コードを入れていても番号空欄で申告できる。その逆もできる。	特にCR,PDは両方の入力がないとエラーになるようにしてほしい。	入力漏れを無くし、非違が起こりにくくなる効果がある。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-166	通関	IDA	運送先の所在地	アルファベット入力	漢字での入力に変えてほしい	EXCELでは漢字表記も可能なので、NACCSでも漢字表記で問題ないと思います。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-167	通関	IDA	輸入許可後の運送先の入力	左記を7次NACCSから入力を行うことになる。	生産性等を鑑み、その入力を廃止していただきたい。	NACCS更改前よりも、営業サイド、通関サイドともこの業務に時間を割くことになり、生産性が落ちることになる。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-168	通関	IDA	共通管理番号の件数の補充	7次NACCSより「共通管理番号」が自動補充されるようになった。しかし「件数」は「自動保管」されない。	営業サイドからの連絡は「件数」と「共通管理番号」がセットであるので両方を自動補充していただきたい。	「件数」と「共通管理番号」が両方自動補充されると、営業サイドからわざわざ「件数」のみ連絡する必要がない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-169	通関	IDI/IES	複数官署にわたる申告一覧結果を纏めて表示して欲しい	申告官署「AL」で照会した際、申告が複数官署で行われた場合には続きデータを官署ごと都度再送受信する必要がある。	官署コード・通関士コードはグリッド欄に表示し、纏めて1つのデータとして確認できるようにしてほしい	日々IES/IDIで通関士ごと申告件数を確認し管理しているが、申告官署「AL」で照会しても官署ごとに続きデータを再送受信する必要があるため、官署ごと別途入力し照会する場合と手間が一緒である。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-170	通関	IFA.IFB.IFC	食品届出控作成後のNACCS送信時、搬入蔵置場コードと届出入力蔵置場コードが相違する場合、送信不可としてエラーにして欲しい。種別「N」の場合。	食品届出作成時の蔵置場コードと搬入済み蔵置場コードが相違していてもそのまま送信可能(IFB)、届出業務(IFC)も送信可能。	搬入済み蔵置場コードと食品届出入力蔵置場コードが相違する場合は送信不可にして欲しい。種別「N」の場合。	搬入済み蔵置場コードと届出時の蔵置場コードが相違していても種別「N」なら審査終了後届出済証となり訂正不可となるので未然に誤りを防ぎたい。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-171	貨物	CHJ SHS	仕分けを取り消した後に、枝番のアルファベットについて、取り消したものと同じものを再度使えるようにしてほしい。	仕分けを取り消すと、やり直した仕分けの時には末尾のアルファベットが次のものになってしまう（A,B,Cに仕分けしたものを取り消して再度仕分けするとD,E,Fになってしまう）	仕分けを取り消した後に、枝番のアルファベットについて、取り消したものと同じものを再度使えるようにしてほしい。	申告書類や食品申請を事前に仕分け予定のアルファベット入りで作成するので仕分けをやり直してもそのまま活かせるようにしたい。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-172	貨物	CKO	AIR貨物を神戸などにOLTで移動させてから申告し、大型X線検査になった時にSEA NACCSと同じく大型X線検査の指定票を出して欲しい	AIR NACCSで申告したものは大型X線検査でも「検査場検査」の指定票しか出力出来ないため、許可書等の区分が3Kになってしまう	大型X線の時は輸入許可書等の区分が3Xになるようにしてほしい。	許可情報が3Kになっているため大型X線検査の実績がないと判断されてしまい、大型X線検査に当たる比率が高くなっている。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-173	通関	DLI02	他社申告分の修正申告情報呼び出す時にBLNOの入力を必須項目から外して欲しい。	他社申告分の修正申告情報呼び出す時にBLNOの入力が必須となっている。	他社申告分の修正申告情報呼び出す時にBLNOの入力を必須項目から外して欲しい。	事後調修正の依頼を受ける時には、修正申告内容の計算書しか入手していない。BLNOが必須項目となっていると、輸入許可書も取り寄せる必要が出てきて手間がかかる	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-174	貨物	ICG	ICG(全体情報)から全コンテナを一括でICNできる機能が欲しい。	1コンテナずつしかICN画面に遷移できない。	ICG(全体情報)を右クリックして「業務リンク」を選択した際に、その貨物情報に含まれるすべてのコンテナ番号に対して一括してICNできる機能が欲しい。	一括でICNできるようになれば、作業効率の向上となる。	2026年度プログラム変更実施案件
R07-176	通関	IDA	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1には、"Y"を表示しないで欲しい	原産地証明書(e-CO)を利用した申告で区分1については、全て"Y"（書類提出要）が表示される	e-COを利用した申告で区分1は、提出の必要がないにも拘わらず"Y"が表示される。輸入承認証欄に"GENS""GENN"が入力された場合は、"Y"を表示しない仕様にして欲しい	IDI 輸入申告等一覧照会－照会種別"L"通関関係書類未提出一覧で提出漏れを確認しているが、実態が一致しない。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-177	通関	IDA	輸入承認証等識別コードの追加	識別コードがFMNG：米穀等輸入納付金納付申出書等番号（領収証書の原本の提出が必要なもの）のみの為、原本提出・データ提出のいずれの申告でも区分にGが入る。データ提出の申告の場合も、輸入承認証番号にFMNGを入れるのは税関に確認済。	米麦等の輸入納付金については電子媒体での提示で通関手続きが可能とされている為、識別コードFMNGを入れて申告するも弊社では原本を提出することは無く、実際はMSXを行っている。領収証書の原本の提出が不要なもののコードを新設してはどうか。	識別コードに書かれている内容と実際が異なっている為、分かり難い。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-179	通関	IDA	IDAでの国内運送先の名称、住所を日本語で入力できるようにし、住所は1マスにして頂きたい	IDA上では英字、4 マス入力が必須となっている	IDAでの国内運送先の名称、住所を日本語で入力できるようにし、住所は1マスにして頂きたい	送り状の運送先については日本語で1マスの実績のため、コピペができれば簡素化が図れる	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-180	通関	IDA IDB	配送先部分は日本語入力可能にならないでしょうか？住所部分の枠も一つにならないでしょうか？	配送先名称・住所の英語名/ローマ字表記を都度確認しなければならない。住所入力も枠が分かれているため手間がかかる。	配送先名称は日本語表記で荷主から入手するものなので日本語入力を可能に、住所枠はコピペが簡単に出来るよう一つにまとまっていることを希望します。	入力にかかる労力と時間の削減、間違いを防ぐ。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-181	通関	IDA IDB	配送先部分のみCSVファイルから読み込める機能は作れないでしょうか？	共通部全体をCSVファイルから読み込むことはできるが、配送先部分のみを変えたい場合に他の部分も合わせてCSVデータとして作成しておく必要がある。	既存のデータに配送先部分のみを追加で読み込ませたい。	同じ輸入者、仕出人でも配送先が都度異なることは多い。配送先部分のみを別で簡単に登録出来ればそれ以外の箇所を登録したデータを使い、作業時間を短縮できる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-182	通関	IDA IDB	他法令の共通管理番号で申告書の入力件数と他法令の申請件数が異なる場合に注意喚起を出して欲しい。	申告書の入力件数が他法令の申請件数以上であればエラーもなく申告が出来てしまい、申告後にエラーメッセージがでる。	現在の仕様では申告書に入力した他法令の件数が間違っているかどうか分からないので、分かるように注意喚起を出して欲しい。	食品申請など件数が多い場合などに、申告書に件数を間違えて入力したまま申告してしまう事故を防ぐ。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-183	通関	IDA IDB	他法令の共通管理番号を輸入取引者で取得した他法令もリンクできるようにしてほしい。	他法令のリンクは輸入者名が一致している必要がある。	他法令の共通管理番号を輸入取引者で取得した他法令もリンクできるようにしてほしい。	輸入者が関割ホルダーの場合他法令の申請は輸入取引者の名称になるが、現行では共通管理番号でリンクさせることが出来ず手入力しなければならないため、共通管理番号のメリットが生かせない。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-184	通関	IDA IDB	包括食品の番号も共通管理番号で紐付け出来ないでしょうか？	包括食品は手入力しなければならない。	包括食品の番号も共通管理番号で紐付けさせて欲しい。	手入力によるミスを防ぐ、区分1の時に「1Y」となって都度MSXしなければならない手間をなくす。	継続検討（翌年度）
R07-185	海上入出港	VTX02	ラストネーム、ファーストネーム、ミドルネームに入力についても字数制限の緩和	乗組員の名前のスペルが長くファーストネームが収まり切れないことがある。	ラストネーム、ファーストネーム、ミドルネームの入力制限を40文字程度に増やして欲しい。	ファーストネーム欄に収まり切れず、ミドルネーム欄に記載ということがあるため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-186	海上入出港	VTX02	ラストネームの入力を必須にしないでほしい。	ラストネームが存在しない乗組員の名前入力に関し、ファーストネームをラストネームに入力しないと送信できない。	ラストネームを入力しなければVTX02を送信できない	乗組員の正式な名前を官庁へ提出するため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-187	海上入出港	VTX04	職名コードを増やして欲しい。	現在の職名コードは表現できない職名がある。Ordinary Seaman、Mess man等よくある職名をOTHで表示することになる。	現在より職名コードを増やし、より正確な職名を入力できるようにしてほしい。	乗組員の正式な職名を官庁へ提出するため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-188	海上入出港	VTX01 MFR	港コードを増やして欲しい。	担当している船の前港や積地港がOTHERのところばかり寄港しているため。	現在より港コードを増やし、より正確な港名を入力できるようにしてほしい。	VTX01やMFRで正確な港名を官庁へ提出するため。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-189	海上入出港	VOX	出港許可（転錨・出港受理）通知情報に税関の許可印を押印されたものが発行されるようにしてほしい。	外地の次港によっては税関の許可印が必須であるため。	出港許可通知情報に税関の許可印が印字されるか税関のロゴ等を反映させ、日本国の税関が正式発行した書類と一目で分かるようにしてほしい。	外地の次港では出港許可通知情報に税関の許可印が必須の場合があるが、土日祝に出港場合、税関から許可印を取得できないため。出港許可通知情報に税関の許可印が印字されるか税関のロゴ等を反映させ、どこの国の誰が見ても日本国の税関が発行した正式な書類であると一目で分かるように。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-190	その他		オプション設定の「PDF自動保存」のファイル名の項目追加。	[利用者コード][出力情報コード][サブジェクト][日付時刻]の4つが現在のファイル名の項目。	オプション設定の「PDF自動保存」のファイル名に[社内整理番号]を選択候補を増やして欲しい。OLA(保税運送)等のように[社内整理番号]の入力欄がない業務については、ファイル名に[社内整理番号]が付かない仕様で問題ありません。	許可書等をPDFで自動保存して社内サーバーに保存する際に、[社内整理番号]がファイル名にあると社内システムとの連動が容易になる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-191	その他		EXC電文の出力先	設定した論理端末からしか出力されない	申告（申請）した端末から出力していただきたい	OLTの承認・関税等のリアル口座振替通知情報等を申告端末から出力したほうが効率よい。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-193	通関	IDC	リアルタイム口座振替完了通知情報がIDCを送信した利用者に受信されるようにしてほしい	業務コード：UOC11で設定した出力端末にしか出ない	概要に同じ	他人にプリントアウトしてもらう手間がなくなる	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-194	通関	MSB	税関からの伝達情報が、送信した利用者に返信されるようにしてほしい	業務コード：UOC11で設定した出力端末にしか出ない	概要に同じ	他人にプリントアウトしてもらう手間がなくなる	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-195		COA	COA入力の外部ファイルフォーマットの設定	現行のCOA入力は定例フォーマットがなく、手打ちの対応となっている。	COA入力をエクセル等のフォーマットから外部取り込みで入力し送付できるようにしてほしい	外部端末（iPad）等からのデータを取り込み正確な搬出ができ時間削減効果見込みが大きい。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-196		CIB	CIB入力の外部ファイルフォーマットの設定	現行のCIB入力は定例フォーマットがなく、手打ちの対応となっている。	CIB入力をエクセル等のフォーマットから外部取り込みで入力し送付できるようにしてほしい	外部端末（iPad）等からのデータを取り込み正確な搬出ができ時間削減効果見込みが大きい。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-197	貨物	IAW	輸入貨物情報照会画面への処理履歴の更新情報欄への反映	蔵置料金請求先登録（CUR）の処理履歴が更新情報欄に反映されない	IAW照会時に更新情報欄に業務コード「CUR」の実施履歴を表示して欲しい	他代理店が代理通関を行うケースにおいて請求先登録変更が実施されていないケースがあり、誤請求に繋がるため、正しい請求先登録を実施しているかどうかの確認を行うためにIAW上にて確認出来るようにしていきたい	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-198	貨物	IWH	照会パターン番号「09」選択時における照会可能時間帯の制限を撤廃	照会パターン番号「09」は22:00-08:00の時間帯のみ照会が可能	業務開始、終了時の照会作業を可能とするために制限時間の撤廃をお願いしたい	保税蔵置場の蔵置量の状況確認を行うために制限時間を撤廃、運航が終了した時点などのタイミングでの蔵置量確認が実施可能となる	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-199	貨物	IWH	照会パターン番号「01」での照会で最終画面に画面遷移出来るようにしていきたい	照会パターン番号「01」の場合には、1画面ずつの展開となり、数十回の画面展開をする必要がある	最初から最終画面の展開が可能となるように頂くなど、1画面ずつの展開以外の方法で蔵置量が確認出来る手段を構築していただきたい	業務改善の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-200	貨物	IWH	過去の情報照会が実施出来るようにしていきたい	照会時点の情報出力しかできない	日時指定を可能として、過去の在庫状況照会が可能としていただきたい（期間：1ヶ月程度）	保税蔵置場の蔵置状況の分析データとして過去の情報を抽出可能として欲しい。貨物の流動、滞貨状況などの分析に活用したい	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-201	貨物	-	管理資料電文「S14 航空輸出貨物搬出入データ」への項目の追加	個数/重量/仕向地の情報が無い状況にて貨物情報が表示される	個数/重量/仕向地の情報が追加されることにより、過去の在庫状況について確認が実施可能となる	過去の在庫状況について確認が実施可能となる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-202	貨物	CHS	貨物取扱登録（改装・仕分）呼出し(CHS)の仕様変更。	現行の仕様では、貨物取扱登録（改装・仕分）呼出し（CHS）にて改装仕分を登録する際に、貨物取扱控えを出力させるためには、「入力情報特定番号」の欄に「A」を入力しなければならない。	貨物取扱登録（改装・仕分）呼出し（CHS）を登録すると自動で貨物取扱控えが出力するように仕様変更。	貨物取扱登録（改装・仕分）呼出し（CHS）を登録する際に「入力情報特定番号」の欄に「A」の入力忘れにより貨物取扱控えの出力漏れを防ぐことが可能となる。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-203	貨物	HCC	貨物取扱手数料変更情報登録(HCC)の仕様変更。	現行の仕様では、貨物取扱手数料変更登録（HCC/減算）を行うと、取扱手数料が減算されるが、変更登録間違い・その他の理由で取扱手数料減算をキャンセルしようとしても一旦変更登録をしてしまうと変更が出来ない。	貨物取扱手数料変更登録（HCC）実施後、同登録のキャンセルを可能とすることによって正確な貨物取扱手数料の計上が可能となる。	貨物取扱手数料変更登録（HCC）のキャンセルを行った履歴をデータ情報ファイルに残すことが可能になる。また、蔵置料金データ情報ファイルにも正確な貨物取扱手数料の計上が可能となる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-204	貨物	CHT	貨物取扱登録（特殊貨物）/（CHT）の仕様変更。	現行の仕様では、貨物取扱登録（特殊貨物）/（CHT）のキャンセルを行うと、過去全ての取扱記録が削除されてしまう。	削除回数を指定できるよう仕様変更。	取扱いを実施した履歴が、NACCS情報ファイルに正確に残り、料金計算においても正確な数値で計算可能となる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-207	貨物	ICN	ICNにて他社へ蔵置している輸出予定コンテナの貨物管理番号を確認したい	MFRから30日経過し、他社へ蔵置しているコンテナは、ICN上貨物管理番号が紐づいていない。 自社蔵置分であればMFRの日数にかかわらず、確認できる。	代理店登録している船社であれば蔵置場所や日数にかかわらず、ICNから貨物管理番号を確認したい。	船社代理店として通関状況を確認したい為。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-208	通関	HHB	NACCS利用顧客社名変更時の包括保険扱い関係画面への新社名自動反映	保険会社がHHB処理（空登録）を実施してはじめて新社名が包括保険関係画面に反映される。	保険会社処理がなくても、NACCS利用顧客の社名変更を包括保険関係画面へ自動反映させる。	社名変更は保険会社側で気づけない場合が多く、顧客からの変更要請に頼らざるを得ない。顧客、保険会社双方の負担を軽減したい。	継続検討（翌年度）
R07-209	通関	IS7	包括保険使用実績データの月単位でのデータ出力	現在は10～11日単位での出力である。保険会社側では包括保険実績データを活用して保険申込をいただける仕組みがあるが、毎回データを1か月分に結合する作業が必要になっている。	月単位でデータを出力できるようにしてほしい。	月単位での出力にすることで申込データの整形が不要になり荷主、保険会社双方で利便性が高まるため。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-210	通関	HHA	包括保険申請内容の保険会社による取消機能	保険会社では包括保険番号利用の廃止、停止はできない。	「仮登録完了」「登録完了」の包括保険番号を、保険会社側で廃止・取消する機能がほしい。	包括保険契約を解約して保険会社と取引終了しているにもかかわらず包括保険番号を使用され続けてしまうリスクがあるため。	2026年度プログラム変更実施案件
R07-211	通関	HHA	包括保険申請の仮登録時における一時保存機能	包括保険申請仮登録時に登録途中で作業を中断したり、登録内容を内部で他者に確認してもらうことができない。	保険会社仮登録中の一時保存機能を設けてほしい。	複数の担当者が登録作業を行う際に引き継ぎや確認が確実に実行できるようになる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-212	通関	HHA	包括保険申請の仮登録後の自動通知機能	現在は、仮登録完了後に保険会社で仮登録情報控のPDFを取得したのち、輸入者へPDFと確認登録の依頼をメールで送っている。	保険会社での仮登録完了後にシステム的に輸入者宛てに仮登録完了のお知らせ（＝確認登録の依頼）が自動通知される機能があるとよい。	システム的に自動通知され、確認登録に進んでいただくことができれば、別途の保険会社からのメール案内を不要とできる。メールへの添付PDF誤りによる情報漏洩リスクの回避の観点で。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-213	通関	HHA	包括保険申請の複数登録内容の一括訂正機能	項目単位での一括訂正機能がない。	保険会社側で行う「訂正」について、複数の包括保険番号の同項目を一律訂正できるような機能があればよい。	保険会社の機構改革や移管の際に大量訂正作業が必要となっている。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-214	通関	HHA,IIN	適用期限の予告メール発信	予告メール機能は無い	NACCSで保有している適用年月日データを元に、期限の切れる1か月前に輸入者（CC:仮登録者、本登録者）に期限が切れる旨、メールを自動発信する。	現在、適用年月切れを管理する術はなく、独自の台帳で管理するか、期限が切れているので急いで登録して欲しいという連絡を輸入者から受け登録作業をしている。 NACCSに登録しているデータで期限管理するのが誤りが無く、かつスムーズな通関となると考える。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-215	通関	HHA	一括通知の最低保険料適用	1件毎に最低保険料が適用されていると思われる。	一括通知の場合は最低保険料を不適用とする。	申告保険料と実際の適用保険料の乖離を無くす（紙申請の時は最低保険料不適用で計算されていたと認識している。）	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-216	通関	HHB	社名変更発生時の対応・手順	マニュアルには記載なし、との認識。	社名変更時の具体的な手順についてお客さまから照会を受けるケースがあるものの、マニュアル上で見当たらないためにNACCSヘルプデスクへ照会している。	手順に変更がないか、とヘルプデスクへその都度確認している。 社名変更の手順であれば、NACCSへログインせずとも手順の概要がわかる（Q&A形式）ようになっていてもよいと考えます。全関係者の業務が円滑に進むと推測する。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-217	通関	HHA,HHB,HH C	ZIPファイル開封パスワードの後送	メールタイトルおよびZIPファイルに記載の包括保険番号から、包括保険一覧情報照会画面を開いて輸入者コードを確認し、ZIPファイルを開く。	後送メールで、ZIPファイルを開封するパスワードを送ってもらいたい。	NACCSにログインしてパスワード（輸入者コード）を検索する作業時間が削減される。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-218	通関	HHB	期日指定反映予定の情報を、保険会社でも事前に変更手続きできるよう改善	社名変更など、JASTPROコードの修正情報がNACCSに連携される際、変更日以降に保険会社はNACCSの変更手続きをしている。	NACCS上、保険会社も期日指定して変更手続きが事前に行えるようにしてほしい。	事前に作業できることで、業務失念を防ぐことができる。	継続検討（翌年度）
R07-219	通関	HHA	更新作業の簡素化	更新ツールを使った作業に非常に時間が掛かり、途中エラーで作業が中断してしまうことも多々ある。	更新ツールの簡素化を希望。	作業時間短縮。	NACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-220	通関	HHA	包括保険番号の削除機能追加	使用しなくなった包括保険番号は輸入者（通関業者）にて適用終了年月日を登録いただくが、登録前に輸入者コードが削除されると、包括保険番号が削除できず残り続ける。	輸入者コードが削除された包括保険番号は、保険会社で削除できる機能を追加してほしい。	使われていない包括番号が、永久的に保険会社の包括保険一覧照会画面に残り続けるため。	継続検討（翌年度）
R07-221	通関	HHA	包括保険仮登録の取消	包括保険仮登録の取消が出来ない。お客さま（もしくは通関業者）にて本登録を行った上で、廃止登録を行うよう依頼している。	仮登録から本登録までの間に、引受内容が変わるケースがある。	万一、お客さまが本登録した後、その包括保険番号で通関してしまうと誤った保険料率で税関に申告することになる。そのような事態が起こらないようにするため。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-222	通関	IDC	輸入申告のリアルタイム口座振替通知情報が、代表端末に出力されるため、輸入申告を行った端末に出力する仕様としていただきたい。	UOC11で設定した出力端末のみに出力される。	要望の概要と同じ	プリントアウトを他の職員に依頼する手間が省略できる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-223	貨物	TYC	他所蔵置許可申請等において、許可情報が代表端末に出力されるため、申請を行った端末に出力する仕様としていただきたい。	UOC11で設定した出力端末のみに出力される。	要望の概要と同じ	プリントアウトを他の職員に依頼する手間が省略できる。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-224	通関	EPA	EPA(輸出植物検査申請事項登録)とECR(輸出貨物情報登録)の共通項目については、輸出管理番号をキーとしてデータが補完でき、一方の入力を不要とする仕様を検討いただきたい。	EPA(輸出植物検査申請事項登録)とECR(輸出貨物情報登録)の共通項目であってもそれぞれ入力する。	要望の概要と同じ	共通項目は一度の入力ですむため、事務の効率化につながる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-225	貨物	PKI.CLR	取得した積コンテナリスト、卸コンテナリストの情報を登録された代理店コードへ配信して欲しい。	機能なし	卸コンテナリスト、積コンテナリストを船会社または代理店へ送付しているが、メール送信やファクス送信で行う必要がある。PKI や CLR 業務に通知先を加えて欲しい または船社ごとに登録された利用者へ配信して欲しい	別途手動で送付するのが手間である	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-226	海上入出港	ICG	「輸出許可内容変更申請」の状態が申請中か承認済みかICG 上わかりにくい	指定情報DCLで照会を行えば「許可内容変更申請進捗表示」がある。全体情報TTLでは許可変更の番号(-1)に変わっており、許可日が入っている。全体情報照会では承認済みの状態と見えてしまう。	通常は全体情報のみ確認しており、敢えてDCLで照会はしない。全体情報で内容変更の状況（申請中/承認済）が確認できるようにしてほしい。	承認済みと誤認し、申請中の状態で搬出を進めてしまう恐れがある	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-227	貨物	ACL01	ACL送信時 共通部2の入力と繰返部の入力が相違があった際も情報が送信出来てしまう。	ACL送信時 共通部2の入力と繰返部の入力が相違があった際も情報が送信出来てしまう。	入力情報が異なっていた場合送信出来ないようにしてほしい。	訂正をする必要がなくなる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-228	その他		禁止文字を減らして欲しい。	禁止文字が入っていた場合ACL送信時情報が削除される。	禁止文字を減らして欲しい。	訂正行為が減ります。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-229	貨物	CKO	検査指定票（倉主等用）のタイトル変更	保税蔵置場には「検査指定票（倉主等用）」が配信され、申告者には「検査指定票（運搬・倉主等用）」が配信される	保税蔵置場に配信される「検査指定票（倉主等用）」も、「検査指定票（運搬・倉主等用）」に変更していただきたい	「運搬」の表示がないので、乙仲業者等から「検査指定票（運搬・倉主等用）」を入手してから、改品業者へ渡し、貨物を税関へ搬送しているの で、入手の手間の削減。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する 案件以外の要望等として、検討対象外としまし た。
R07-230	貨物	なし	不要な配信の停止	貨物搬入確認登録BIAの入力直後に配信される貨物管理番号、入力種別が掲載された短文が配信される。	貨物搬入確認登録BIAの入力直後に配信される資料（システム完了を示すと思われる短文。種別：U）は、保税蔵置場では特に必要がないので、配信を止めるか、BIA入力後に完結していただきたい。	システムのスリム化	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-231	海上入出港	VAN	搬出日時の入力制限	現在「搬出年月日≦システム日+2日」となっており、過去日付の制限が無い為、入力ミスが発生した場合にでも入力出来てしまう。	搬出日時欄の入力範囲を「許可日≦搬出年月日≦システム日+2日」に変更出来ないか。	万が一の入カミスをシステム的に止める。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-232	貨物	G01,G02	「G01. 輸入貨物搬出入データ」及び「G02. 輸出貨物搬出入データ」の改善	左記CSVを表計算ソフトで表示する際、品名等に特殊記号があれば、セルが分割される。	第7次NACCSにおいて改善された管理資料「H01輸出申告一覧データ」と同様に改善する。	保税台帳としている左記CSVを集約し、表計算ソフトで点検する際の不便を解消する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-233	貨物	なし	IS承認後の海上貨物管理をNACCSで行うか否かを個別に選択可能とする。	IS承認後の海上貨物管理は、保税蔵置場毎に、NACCSで行うか否かを選択できるが、貨物管理番号（B/L）単位で選択することができない。	個々のIS承認申請時に以後の貨物管理をNACCSで行うか否かを選択できるようにする。	IS承認後の仕分、通関等が単純なものはNACCS管理、複雑なものはマニュアル管理とすることで利便性を向上させる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-234	貨物	G02	「G02. 輸出貨物搬出入データ」の改善	搬出区分がTEC（システム外輸出許可）の場合、「許可日」が出力されず、「出港日」や「許可番号」が空白となるものがある。	G02の搬出区分がTECの場合でも、出港日、許可番号、許可日を出力できるようにする。	保税台帳としている左記CSVの不備を解消する。	他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-235	貨物	なし	管理資料（G01,G02,G05）を自動でダウンロードできるよう端末ソフトに機能を追加する。	管理資料（G01,G02,G05）は手動でダウンロードする。	管理資料（G01,G02,G05）は、選択・設定により、端末ソフト起動時に自動的にダウンロードできるよう機能を追加する。	管理資料の取得作業が省力化される。	過去に同様の要望を検討した状況から変化がないため対応は困難。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-236	貨物	BOC	BOCの搬出年月日の登録について（未達日の入力規制）	入力日以降の未到来の日付けで、搬出登録が実行できる。	年末に貨物を搬出し、年始に搬出登録を行った際に誤って未到来の日付けで登録をしてしまった事例があるため、ワーニングのみでなく未到来の日付けでの入力を不可とする。	年またぎで入力する際に間違った年を入力することを防ぐことができる。	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-237	通関	IFI	審査終了欄の入力状況を表示するのに加え、審査担当者欄1.2に入力された文字を表示してもらいたい	事前届については利用者がIFG業務をするまで検疫所では審査終了欄に入力をしないため、現状の機能では検疫所の審査状況がわからない	審査状況については審査担当者欄1.2の入力文言で判断する運用になっている（東京検疫所） 審査担当者欄1にOK+担当者名→書類審査終了 MEI+担当者名→検査命令書セット完了 OK+担当者名+1→届出訂正後末尾番号での審査終了 STOP→違反貨物の可能性あり、など。運用は検疫所によって異なるが多くの検疫所では済証発行まで審査終了欄に入力はされない。そのため審査担当者欄1.2の文字の表示が必須である	便利な機能だと思いが現状の運用に即していないため活用できていない	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-238	通関	IFA	輸入者・通関業者整理番号入力欄の新設	通関業者・輸入者等の整理番号を入力する欄がなく、備考欄へ入力は審査の妨げとなることから禁止されている	新たに輸入者・通関業者整理番号入力欄を設け、食品届控/連絡書/届出済証/モニタリング結果通知各種帳票への出力および食品届照会画面(IIF)で確認可能としてほしい	IIF画面上、食品届帳票等で社内の整理番号が分かれば問い合わせ等の際に貿易資料の取り出し、輸入者への連絡がしやすくなる。出力される帳票や帳票データが社内の案件と紐付け・整理やすくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-239	通関	CFH02	連絡書帳票へ商品名・ブランド名、2で要望した輸入者・通関業者整理番号を出力する	連絡書には輸入者名、届出番号欄番号、審査担当者、連絡内容しか出力されていない。欄番号だけだと一目でどの貨物に対する連絡事項が分からず、一旦IIFを展開するかRIFで帳票を出力して具体的なアイテム名を確認する作業が必要になってしまう	審査担当者が選択した欄番号の商品名・ブランド名を欄番号に続けて出力する。共通が選択された際にはその届け出の全欄の商品名・ブランド名を出力する。また、輸入者・通関業者整理番号を必ず出力する	連絡書発行時に内容照会の手間がなくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-240	通関	CFH01	照会可能な期間を延長してもらいたい。	2週間以上経過すると照会できない仕様になっている。	IIF業務では過去遡って10年未満の食品届出が照会できるため、CFH01も同様にしてほしい。	同一商品や類似品において、検疫所との過去の連絡内容を確認したい場面があるため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-241	通関	MSF01	MSF01にて添付する書類の確認	2回目以降にMSF01にて書類を添付する際に削除しなければならず、何の書類を添付したかわからなくなってしまう	MSF01にて添付登録した書類を全て確認できるようにしてほしい		他の機能や業務により対応可能である。（新たなプログラム変更は不要）
R07-242	その他		即時電文取り出し等、データ取り出し時の一覧画面の更新	即時電文取り出しや自動でデータを取り出す際に、行った業務の一覧画面が更新されない(データを取り出したかどうかを上スクロールしないと分からない、見えない)。また、複数のデータを取り出ししている際には全ての取り出しが終了しないと画面に反映されない(スクロールしても表示されない)。	即時電文取り出し等、データを取り出す際には複数のデータを同時に取り出ししても1件ごとに画面に随時表示していただきたい。また、取り出ししていることが分かるように最上部(最新)を一番上に自動的に表示してほしい	全ての取り出しが終わるまで表示されない為、なんのデータを取り出ししているのか、そもそも取り出しをしているのか分からない。すぐに知りたいものがあっても待つ(無駄な)時間が発生する。また、取り出し完了後も毎回、上スクロールをしないと見えない(取り出ししていないでも毎回確認しないといけない)。以前のように1件毎に一覧へ表示していただき、最新の取り出しデータをスクロールせずとも画面上部へ表示していただけるとNACCSの取り出し状態が一目で分かるため現在の手間および見落としがなくなります。	2026年度プログラム変更実施案件

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧 (2026年度分)

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-243	海上入出港	WPTまたはVTX01	入国前外国寄港歴の入力方法 (最大10港)	所定のページまたは画面から1港ずつ入港日・出航日を登録 (クライアント・WebNACCS共通)	左の入力方法に加え、乗組員情報・乗客情報・危険物などと同様別紙(Excel/cvs)に日付・港コード及び港名を入両区してアップロードする形でも登録可能にして欲しい	船長が適切な情報を入力してくれば寄港歴情報の登録が円滑になる	他の機能や業務により対応可能である。(新たなプログラム変更は不要)
R07-244	海上入出港	WPTまたはVPX	入港通報取消時の確認に関して	共通クライアント(VPX)→タブの「区分」から(1取消)を選択して送信 / WebNACCS(WPT)→「訂正・取消」から選択して送信	フェイルセーフの観点から①送信前に「本当に取消して宜しいですか？」等のポップアップを出して欲しい / ②取消した通報内容に関して、取消の取消を行う一定の猶予期間が欲しい (この期間内であれば新規の再通報ではなく、変更扱いでそれまでの通報を受理した扱いにして欲しい)	変更と取消がほぼ同じ画面で判別がしにくく、誤操作で取り下げてしまう恐れがある為(共通クライアントはプルダウン上で取消と変更が隣接している為更に誤操作のリスクが高い)	継続検討 (翌年度)
R07-245	海上入出港	WPT/VTX01/VTX01等	過去の通報情報の保存(エクスポート)に関して	通報完了から数か月するとデータベース上から通報履歴自体が消失されてしまう(航海番号・船名等を入れてもヒットしない)	もし可能であれば過去2-3年迄の通報情報をNACCS側でストックして欲しい、難しい場合は提案として、通報情報をCVS化してエクスポート・ダウンロード出来る様にして次回寄港時に再度アップロードを行う事で再度同じ情報を入力出来る様にして欲しい	定期船で入港スパンが長い船や特に非定期船の入港通報の際、過去の情報が消えてしまうその度に入力が必要になってしまう為	他の機能や業務により対応可能である。(新たなプログラム変更は不要)
R07-246	海上入出港	VBY/VBX/VBX11またはWBX	自分がシステムに登録した運航者と異なる場合の船舶基本情報登録手続に関して	登録されている運航者が異なる場合、通報自体が出来ない。またVBY11で照会を行っても情報が出て来ず、VBYによる訂正も出来ない。 (WebNACCSに於いては上記の何れかを行うことも出来ないため、共通クライアントを開いてこれだけの為に同じ動作を行わないといけない)	自分が登録情報の運航者と異なる場合でも、VBY11→VBYで運航者情報のみ簡単に上書き出来る様にして欲しい。またWebNACCS上でも同様の操作が出来る様に入力方法を改善して欲しい	通報作業における円滑化・工数削減の為、特にWebNACCSからの変更が効かないのは非常に不便	他のお客様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難。
R07-247	海上入出港	WPTまたはVPX	入域地点のみならず、入港地が変更となり管轄の官庁が変更になる場合の変更通報を行う方法	現在ではシステム上で対応不可の為、変更を行う場合は変更先の保安部・運輸局に合わせてFAX乃至Eメールで変更の手続が必要	保安部・運輸局共にNACCSシステム上で完結する様に改善して欲しい(必要情報を変更した上で、プルダウン上で変更後の仕向先の官署を選んで変更通報を行えるのが理想的)	不定期船・定期船共に本邦内の寄港順が変更になった場合の手続が非常に煩雑であり、また備船者都合に寄っては直前の変更となる可能性もある為	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-248	海上入出港	WPTまたはVPX	初入港時の証書類のアップロードに関して	共通クライアント・WebNACCS共に証書類のアップロード非対応の為通報先官署宛のEメールに添付して送信が必要	共通クライアントの場合通報時に添付、WebNACCSの場合同様にPDF等のアップロードなどが出来る様にして欲しい、また可能であれば添付する場合は運輸局宛の証書番号入力を不要にして欲しい	NACCSシステムでの通報後に再度メールを送る場合は二度手間となるが、纏めて提出出来れば通報から受理までのリードタイム短縮に繋がるから(メールの方にNACCSの提出と紐づける情報が無い場合、官庁側の担当者に混乱が生まれ受理遅れに繋がりやすい)	関係省庁案件のため要望を伝達しました。なお、運輸局への入港通報についてはPDFファイル等をアップデートできるように改修を実施いたしました。
R07-249	海上入出港	WEB NACCS 各種手続	寄港地コード、寄港地名入力	"寄港地コード"を一覧参照から選択すると、寄港地名も自動反映される。	新しいWEB NACCSは、"寄港地コード"を一覧から選択しても寄港地コード、寄港地名は反映されない(クリップボードにコピーされるのみ)ので自動反映するようしてほしい。	寄港地名の手入力の手間を省くため。	継続検討 (翌年度)

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-250	海上入出港	VOX	出港届の訂正時に、訂正後の出港許可通知情報を印刷できるようにしたい。	VOXにて税関へ出港届を新規送信した際、送信後に出港許可通知情報の書面を受信し印刷・保存が可能。しかし出港届送信後に人数等の訂正が発生した場合、訂正データの送信は可能だが訂正済みの出港許可通知情報は受信できない。	訂正後の出港許可通知情報を印刷・保存したい。	出港許可を得次第本船に出港許可通知情報を渡しているが、出港直前の急病人等で人数が変動した場合などに、正確な情報に訂正した出港許可通知情報を求められることが多く、「間違いなく税関に訂正データは送信しているが、現行の仕様では書面での訂正版を得られない」旨を毎回説明している。説明の手間を省き代理店の業務を効率化するとともに、本船が次港入港時に正確な前港クリアランスを提出できるようにしたい。	運用面などNACCSが提供するプログラムに関する案件以外の要望等として、検討対象外としました。
R07-251	貨物		貨物状況の通知範囲拡大の希望	貨物状況（特に、申告/許可状況、荷渡可能表示）について、現状はNACCS端末のみへの通知機能となっている。	貨物状況の通知をNACCS端末に通知するだけでなく、登録したEメールアドレスへの通知も可能となるよう、検討してほしい。特に申告許可状況と荷渡可能表示「Y」についての通知をメールで受け取りたい	貨物状況の確認が必要となる業務、部署、担当者が社内によく散在しているため、NACCS端末への通知だけでなく、特定のメールアドレスで通知を受け取れると利便性が大きく向上します。	継続検討（翌年度）
R07-252	通関	IDI/IES	輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力した際に、紐づいて登録されている法人番号に変換し処理を行ってほしい。	輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力しても、紐づいて登録されている法人番号の申告を照会できない。	輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力した際に、紐づいて登録されている法人番号に変換し処理を行ってほしい。	照会業務の利便性の向上	2026年度プログラム変更実施案件
R07-253	貨物	OLT01	仮陸揚げ貨物 OLT01 業務において、空港域外の保税蔵置場は入力不可となっているが、この制限を撤廃してほしい。	仮陸揚げ貨物においては、空港域外の保税蔵置場の入力は不可。	令和7年3月31日の関税法基本通達等の一部改正（財関第342号）に伴い、空港域外保税蔵置場への仮陸揚げ貨物の保税運送が認められたが、OLT01 業務では、空港域外の保税蔵置場は入力不可となっており、システムでの保税運送手続きが取れない。	直接窓口に出向く必要がなくなり、日々の業務の効率化を図れる。システム化による手続きの簡素化により、貨物輸送の拡大が図れる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-254	貨物	OLT01	仮陸揚げ貨物 OLT01 業務の運送先について、仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）も仮陸揚貨物運送（航空貨物）と同様、航空会社保税蔵置場の他に空港保税蔵置場を加えてほしい	仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、運送先はシステム内の航空会社保税蔵置場に限定	航空貨物の保安対策強化に伴い、海上からの移送貨物に対する航空会社保税蔵置場による対応には設備等に限りがあり、空港保税蔵置場を加えることで対応可能な蔵置場の選択肢が広がる	航空貨物保安対策への対応効率化、およびSEA&AIR輸送の拡大が見込まれる	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-255	貨物		混載仮陸揚貨物について空港エリア外にある保税蔵置場への運送をシステム対応可とする	現行は空港エリア外への運送そのものが認められていない	10月12日以降は法令改正により運送可能となることからシステム対応可としてもらいたい	マニュアル（紙）対応がなくなり、業務効率が向上する	関係省庁案件のため要望を伝達しました。
R07-256	貨物	OLT01	仮陸揚げ貨物の保税運送について、転送できる蔵置場の制限を無くして欲しい。	NACCSセンターから7次NACCS仕様の質問に対する回答参照ください。⇒7次NACCSでの改変では空港外自社保税蔵置場への申請はできない仕様となっております。OLT01にて「仮陸揚貨物運送（航空貨物）の場合は、運送先は航空会社保税蔵置場または空港保税蔵置場であること」と制限を設けております。	基本通達の改正において仮陸揚げ貨物の保税転送については、空港外自社保税蔵置場へも転送可能となっているのに仕様が変更されていない。	マニュアルでの保税運送承認を取得しなければならず、NACCS上でのシステム反映にも手間が掛かるため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました。

NACCSプログラム変更要望 検討結果一覧（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用 【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
----	------	-------	-------	---------------------------------	-------	-------	------

※R07-175,R07-178,R07-192は同じ要望が重複していた為、削除しております。また、R07-083,R07-205,R07-206については、要望取下げの為、削除しております。